



斑鳩らしい景観の継承性に関する研究

緑地計画学研究グループ
山崎 寛朗

〈出典〉回想の大和路 入江 泰吉写真集より

研究背景

平成5年「法隆寺地域の仏教建造物」が世界遺産に登録されたのを契機に観光地化に拍車がかかっており、斑鳩らしさの喪失が危惧されている。

研究目的

昭和中期の斑鳩らしい景観が現在どのように継承されているかを把握することによって、今後の斑鳩らしい景観の保全のあり方を探る。

研究の構成

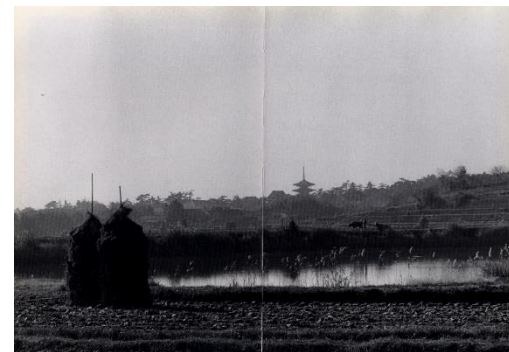
第1章 研究背景、目的、調査対象景の設定

第2章 昭和中期の斑鳩らしさの解明

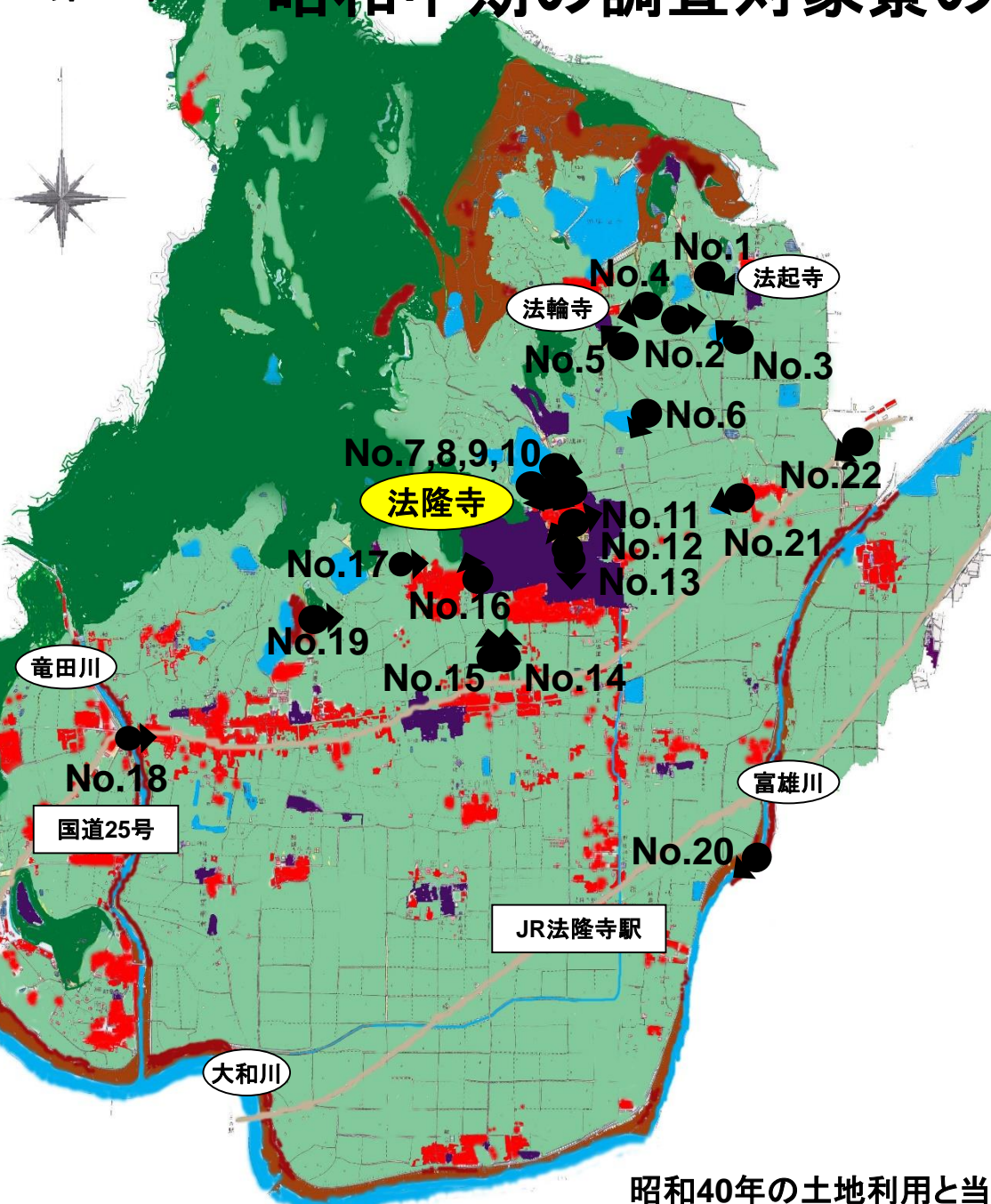
第3章 昭和中期と現在の比較による

斑鳩らしい景観の継承性の把握

第4章 斑鳩らしい景観の継承性と今後の景観の保全のあり方



第1章 昭和中期の調査対象景の特定



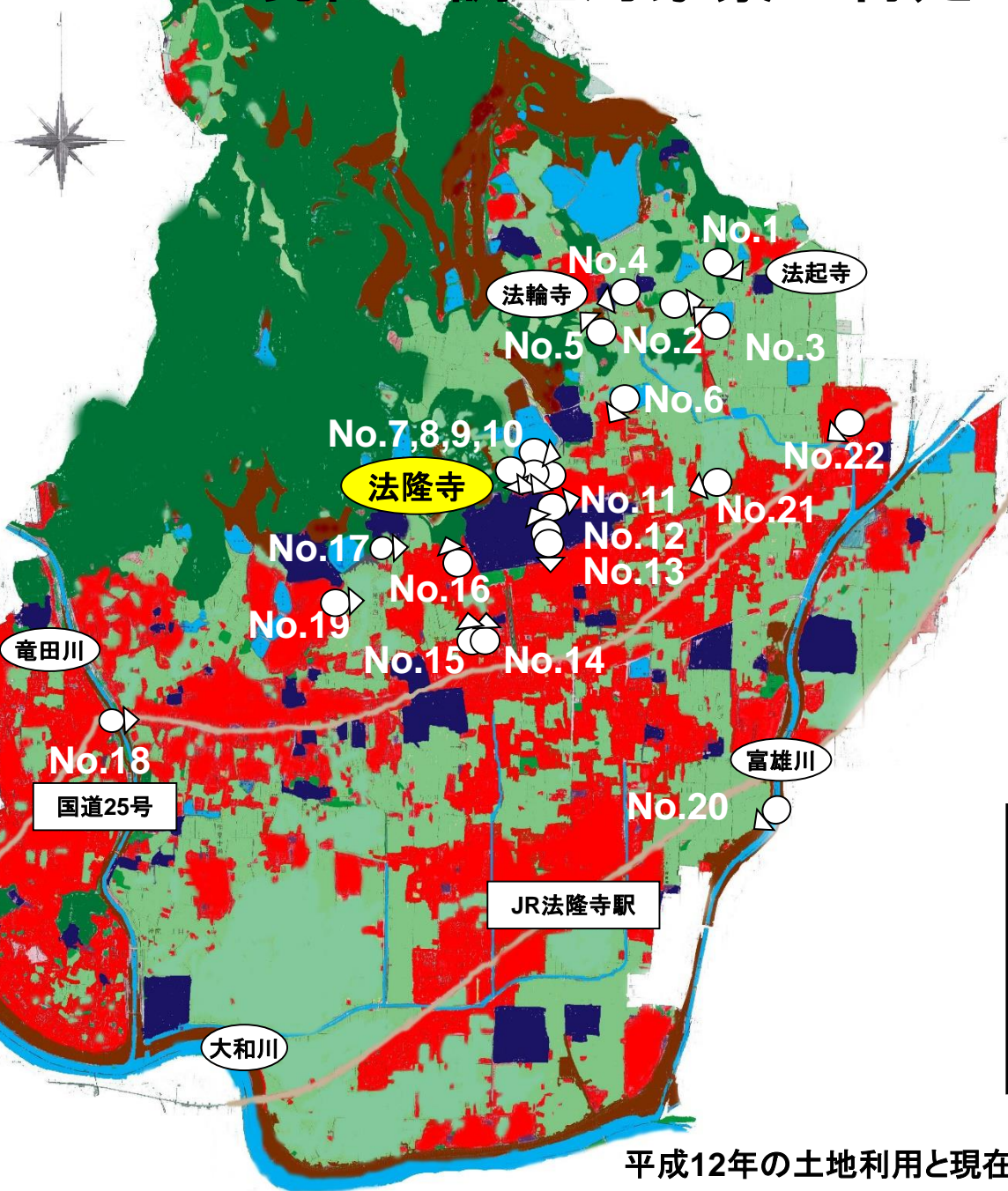
○昭和中期の調査対象景の特定

	写真集名	発行年	景数
入江泰吉	いかるがの里 法隆寺	1960	6景
	入江泰吉の奈良	1985	1景
	うつろいの大和	1994	3景
	回想の奈良	1994	8景
	大和路第二集	1960	1景
和辻哲郎	いかるがの里	1950	4景
6冊			計 22景

凡例	
表示方法	分類
	1. 農地
	2. 樹林地
	3. ため池、河川水路
	4. その他自然地
	5. 社寺、公共施設
	6. その他建造物

昭和40年の土地利用と当時の対象景の視点場


第1章 現在の調査対象景の特定



○現在の調査対象景の特定

・昭和中期と同視点・視対象の22景を撮影

・撮影期間：平成21年10～11月

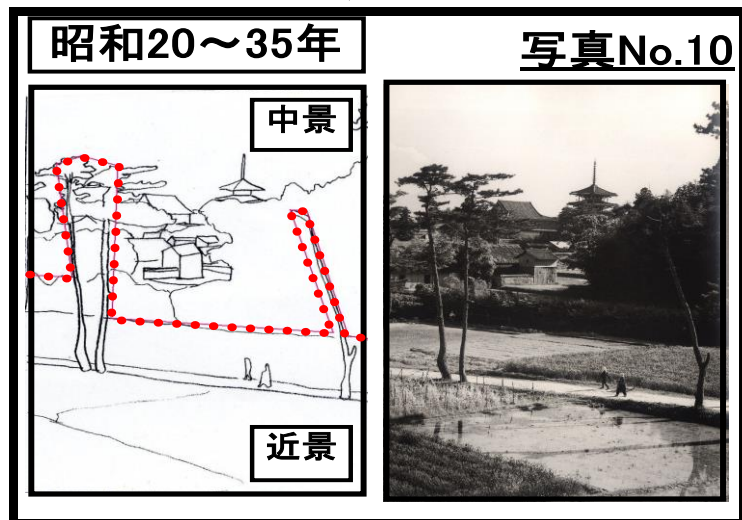
凡例	
表示方法	分類
	1. 農地
	2. 樹林地
	3. ため池、河川水路
	4. その他自然地
	5. 社寺、公共施設
	6. その他建造物

平成12年の土地利用と現在の対象景の視点場

昭和中期の斑鳩らしさの解明の調査方法

景観特性

評定調査



調査期間:平成21年11~12月

刺激媒体:昭和期の景観写真22枚

被験者 :本学科の学生31名

18対の情緒的語句(5段階評価)

近景 73%	人工物 3%	道路	3%
		その他	1%
	自然物 70%	耕作地	51%
		低木	10%
松		8%	
中景 27%	人工物 8%	塔	1%
		社殿	2%
		民家	6%
	自然物 19%	耕作地	1%
		松	1%
		雑木林	17%
遠景 0%	人工物	なし	0%
	自然物	なし	0%
合計			100%

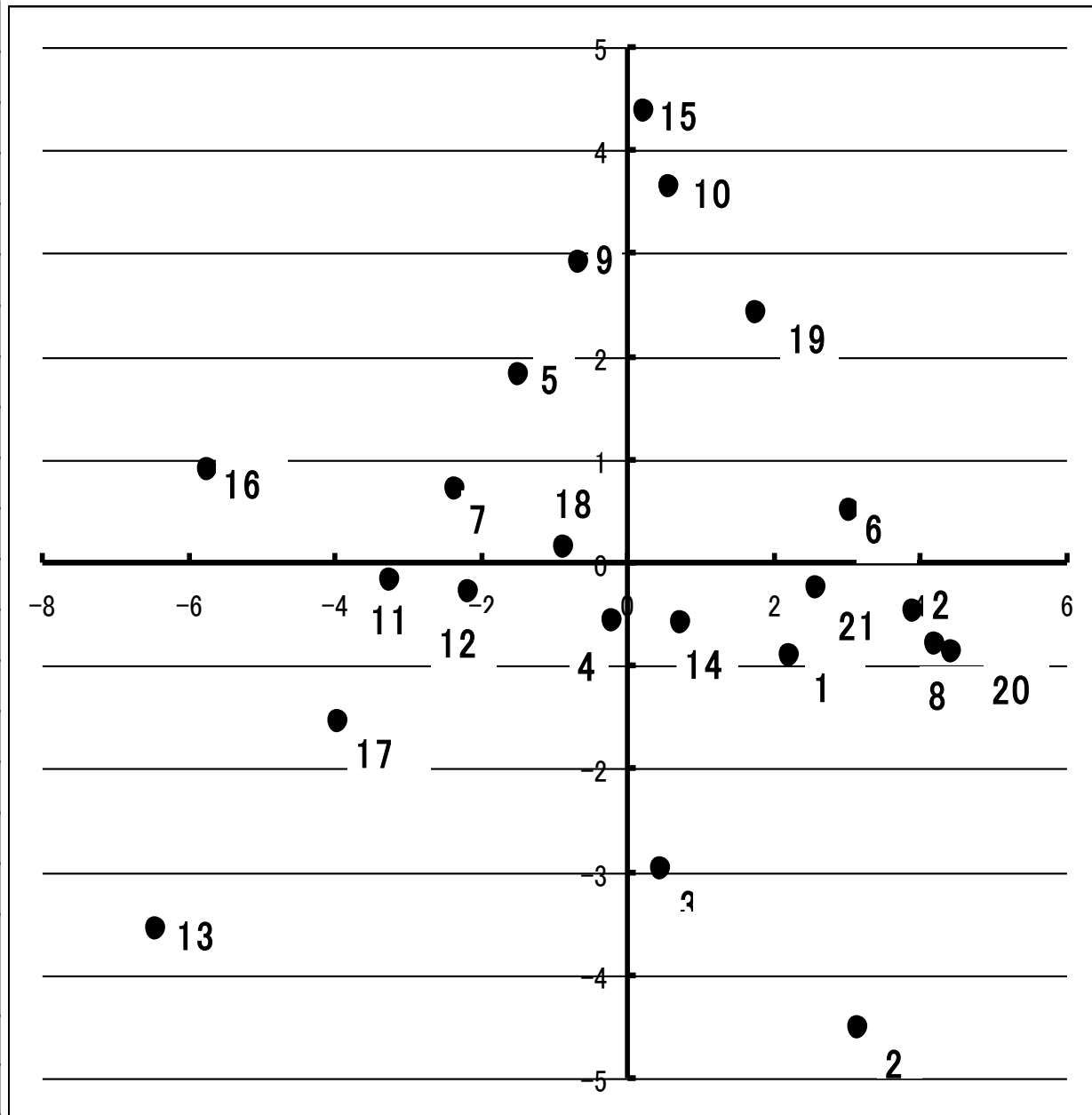
1.	広々とした	⇔	狭い
2.	変化のある	⇔	単調な
3.	奥行きのある	⇔	奥行きのない
4.	やわらかい	⇔	かたい
5.	密集とした	⇔	閑散とした
6.	個性的な	⇔	平凡な
7.	活発な	⇔	おとなしい
8.	緑が豊かな	⇔	緑が乏しい
9.	力強い	⇔	弱々しい
10.	潤いのある	⇔	潤いのない
11.	のどかな	⇔	騒々しい
12.	伝統的な	⇔	斬新な
13.	自然な	⇔	人工的な
14.	整然とした	⇔	雑然とした
15.	開放的な	⇔	閉鎖的な
16.	暖かい	⇔	冷たい
17.	軽い	⇔	重い
18.	明るい	⇔	暗い

第2章 主成分分析を用いた解析結果

主成分負荷量

22景の主成分得点を用いた2次元布置図

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.9318	-0.2319
変化のある⇔単調な	0.1370	0.8777
奥行きある⇔奥行きない	0.8700	-0.2205
やわらかい⇔かたい	0.9765	0.0089
密集とした⇔閑散とした	-0.6280	0.6474
個性的な⇔平凡な	0.0896	0.8982
活発な⇔おとなしい	0.0686	0.7804
緑豊かな⇔緑乏しい	0.8514	0.2547
力強い⇔弱々しい	0.0869	0.8651
潤いある⇔潤いがない	0.9098	0.2199
のどかな⇔騒々しい	0.8387	-0.2488
伝統的な⇔斬新な	0.0182	0.7494
自然な⇔人工的な	0.8848	0.0399
整然とした⇔雑然とした	0.0025	-0.3193
開放的な⇔閉鎖的な	0.9648	-0.1629
暖かい⇔冷たい	0.7450	0.4013
軽快な⇔重い	0.8986	-0.0805
明るい⇔暗い	0.9104	0.1653
固有値	9.1733	4.5181
寄与率	50.96%	25.10%
累積寄与率	50.96%	76.06%

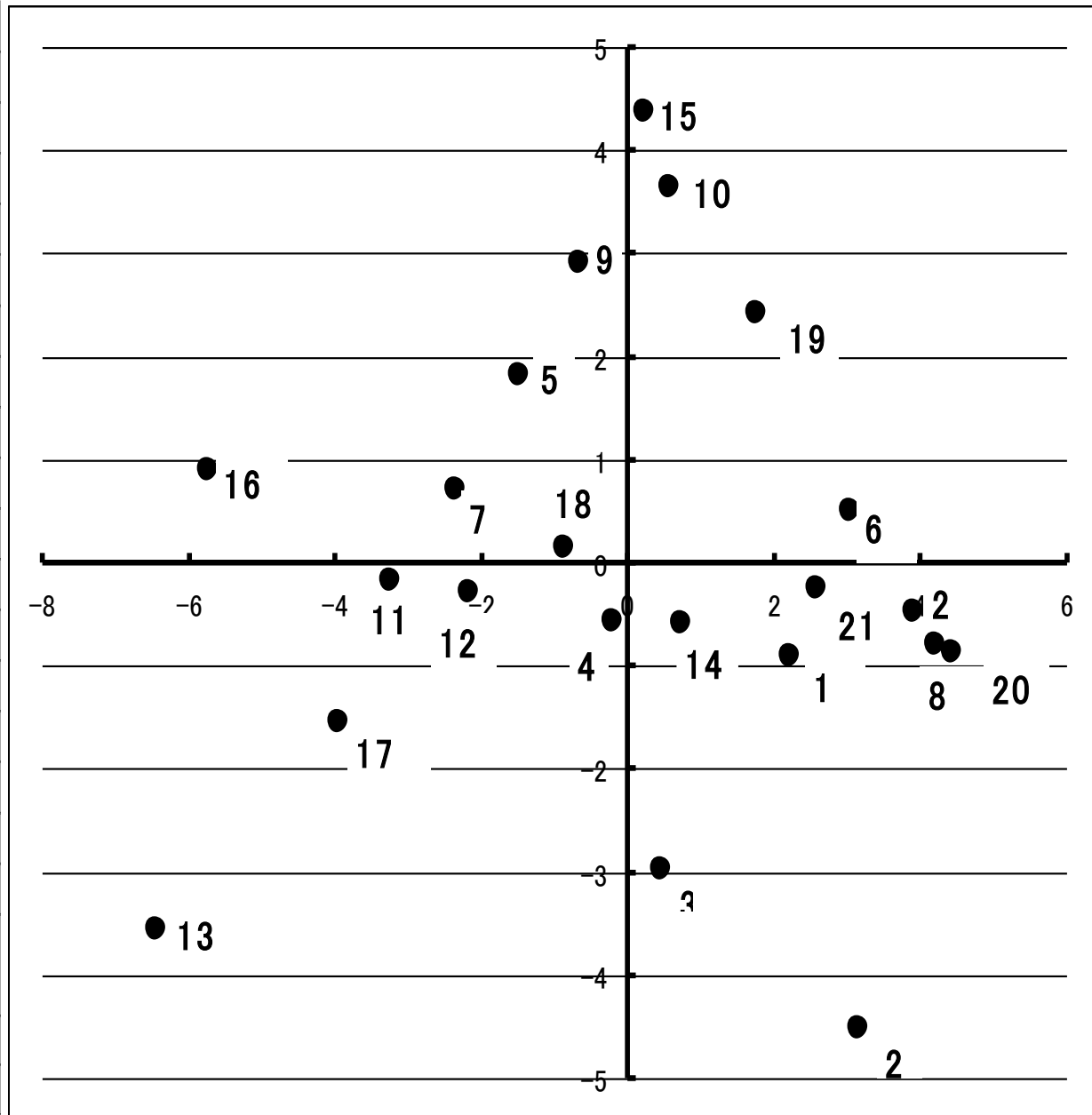


第2章 主成分分析を用いた解析結果

主成分負荷量

22景の主成分得点を用いた2次元布置図

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.9318	-0.2319
変化のある⇔単調な	0.1370	0.8777
奥行きある⇔奥行きない	0.8700	-0.2205
やわらかい⇔かたい	0.9765	0.0089
密集とした⇔閑散とした	-0.6280	0.6474
個性的な⇔平凡な	0.0896	0.8982
活発な⇔おとなしい	0.0686	0.7804
緑豊かな⇔緑乏しい	0.8514	0.2547
力強い⇔弱々しい	0.0869	0.8651
潤いある⇔潤いがない	0.9098	0.2199
のどかな⇔騒々しい	0.8387	-0.2488
伝統的な⇔斬新な	0.0182	0.7494
自然な⇔人工的な	0.8848	0.0399
整然とした⇔雑然とした	0.0025	-0.3193
開放的な⇔閉鎖的な	0.9648	-0.1629
暖かい⇔冷たい	0.7450	0.4013
軽快な⇔重い	0.8986	-0.0805
明るい⇔暗い	0.9104	0.1653
固有値	9.1733	4.5181
寄与率	50.96%	25.10%
累積寄与率	50.96%	76.06%

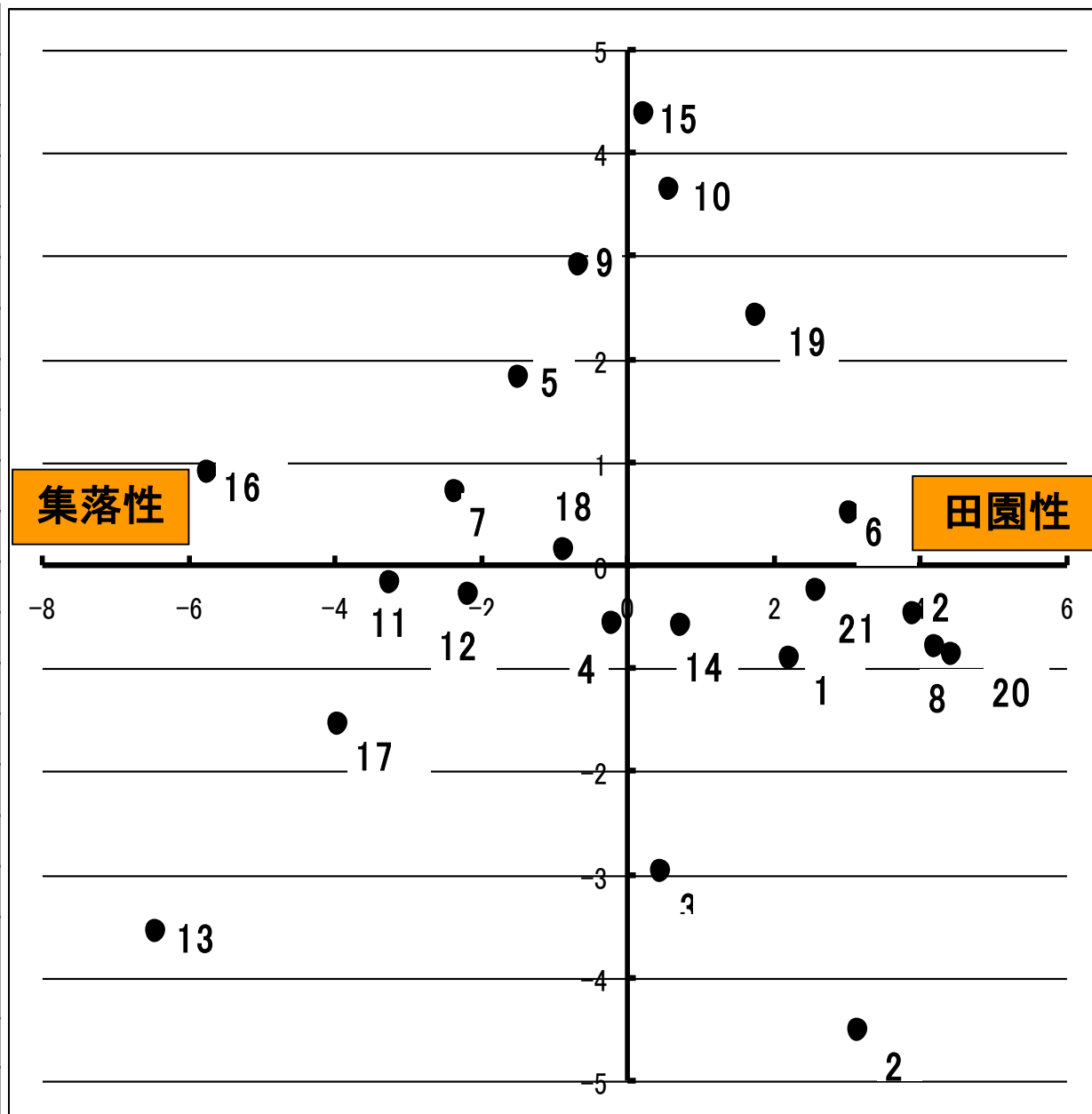


第2章 主成分分析を用いた解析結果

主成分負荷量

22景の主成分得点を用いた2次元布置図

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.9318	-0.2319
変化のある⇔単調な	0.1370	0.8777
奥行きある⇔奥行きない	0.8700	-0.2205
やわらかい⇔かたい	0.9765	0.0089
密集とした⇔閑散とした	-0.6280	0.6474
個性的な⇔平凡な	0.0896	0.8982
活発な⇔おとなしい	0.0686	0.7804
緑豊かな⇔緑乏しい	0.8514	0.2547
力強い⇔弱々しい	0.0869	0.8651
潤いある⇔潤いがない	0.9098	0.2199
のどかな⇔騒々しい	0.8387	-0.2488
伝統的な⇔斬新な	0.0182	0.7494
自然な⇔人工的な	0.8848	0.0399
整然とした⇔雑然とした	0.0025	-0.3193
開放的な⇔閉鎖的な	0.9648	-0.1629
暖かい⇔冷たい	0.7450	0.4013
軽快な⇔重い	0.8986	-0.0805
明るい⇔暗い	0.9104	0.1653
固有値	9.1733	4.5181
寄与率	50.96%	25.10%
累積寄与率	50.96%	76.06%

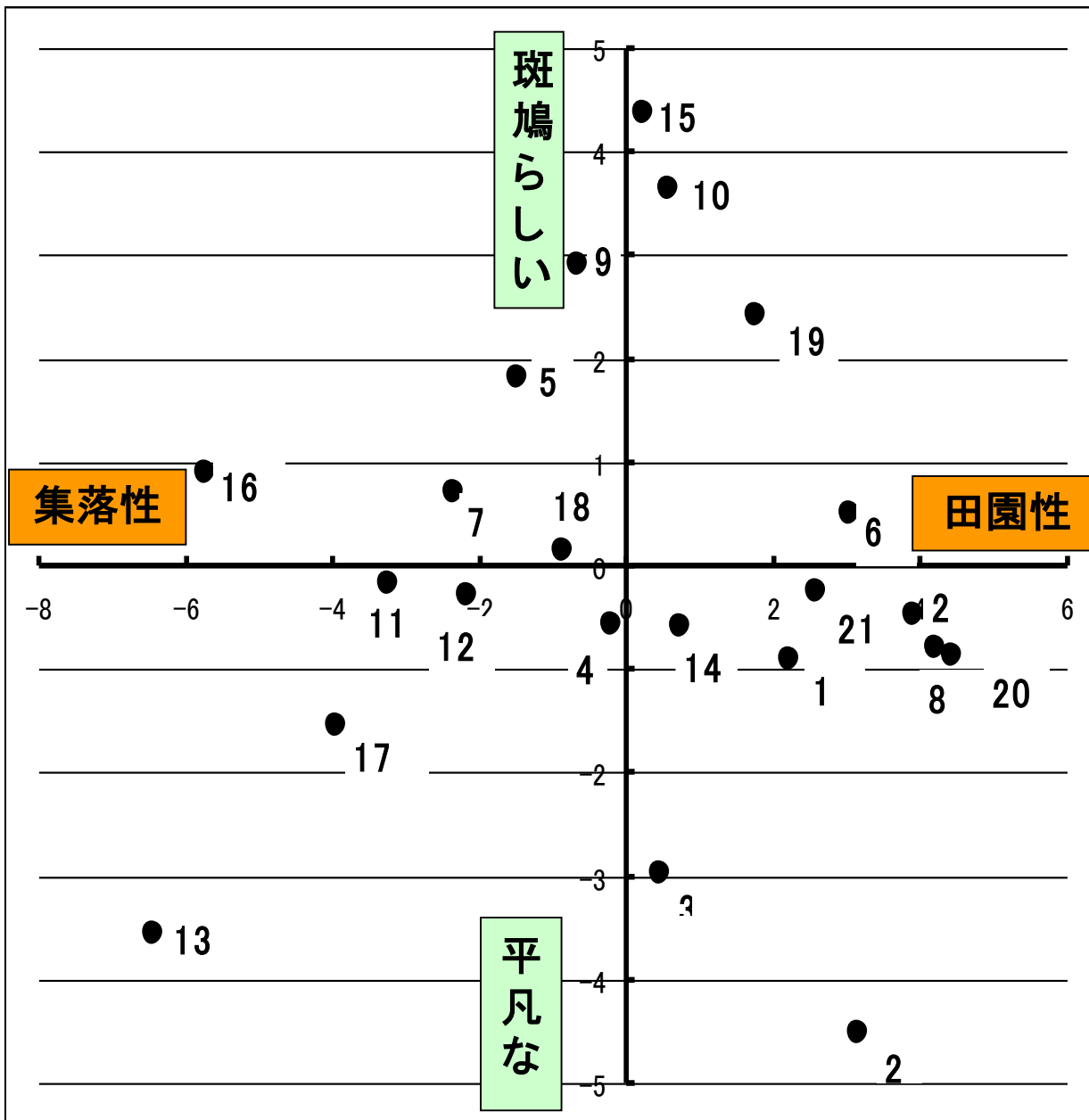


第2章 主成分分析を用いた解析結果

主成分負荷量

22景の主成分得点を用いた2次元布置図

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.9318	-0.2319
変化のある⇔単調な	0.1370	0.8777
奥行きある⇔奥行きない	0.8700	-0.2205
やわらかい⇔かたい	0.9765	0.0089
密集とした⇔閑散とした	-0.6280	0.6474
個性的な⇔平凡な	0.0896	0.8982
活発な⇔おとなしい	0.0686	0.7804
緑豊かな⇔緑乏しい	0.8514	0.2547
力強い⇔弱々しい	0.0869	0.8651
潤いある⇔潤いがない	0.9098	0.2199
のどかな⇔騒々しい	0.8387	-0.2488
伝統的な⇔斬新な	0.0182	0.7494
自然な⇔人工的な	0.8848	0.0399
整然とした⇔雑然とした	0.0025	-0.3193
開放的な⇔閉鎖的な	0.9648	-0.1629
暖かい⇔冷たい	0.7450	0.4013
軽快な⇔重い	0.8986	-0.0805
明るい⇔暗い	0.9104	0.1653
固有値	9.1733	4.5181
寄与率	50.96%	25.10%
累積寄与率	50.96%	76.06%

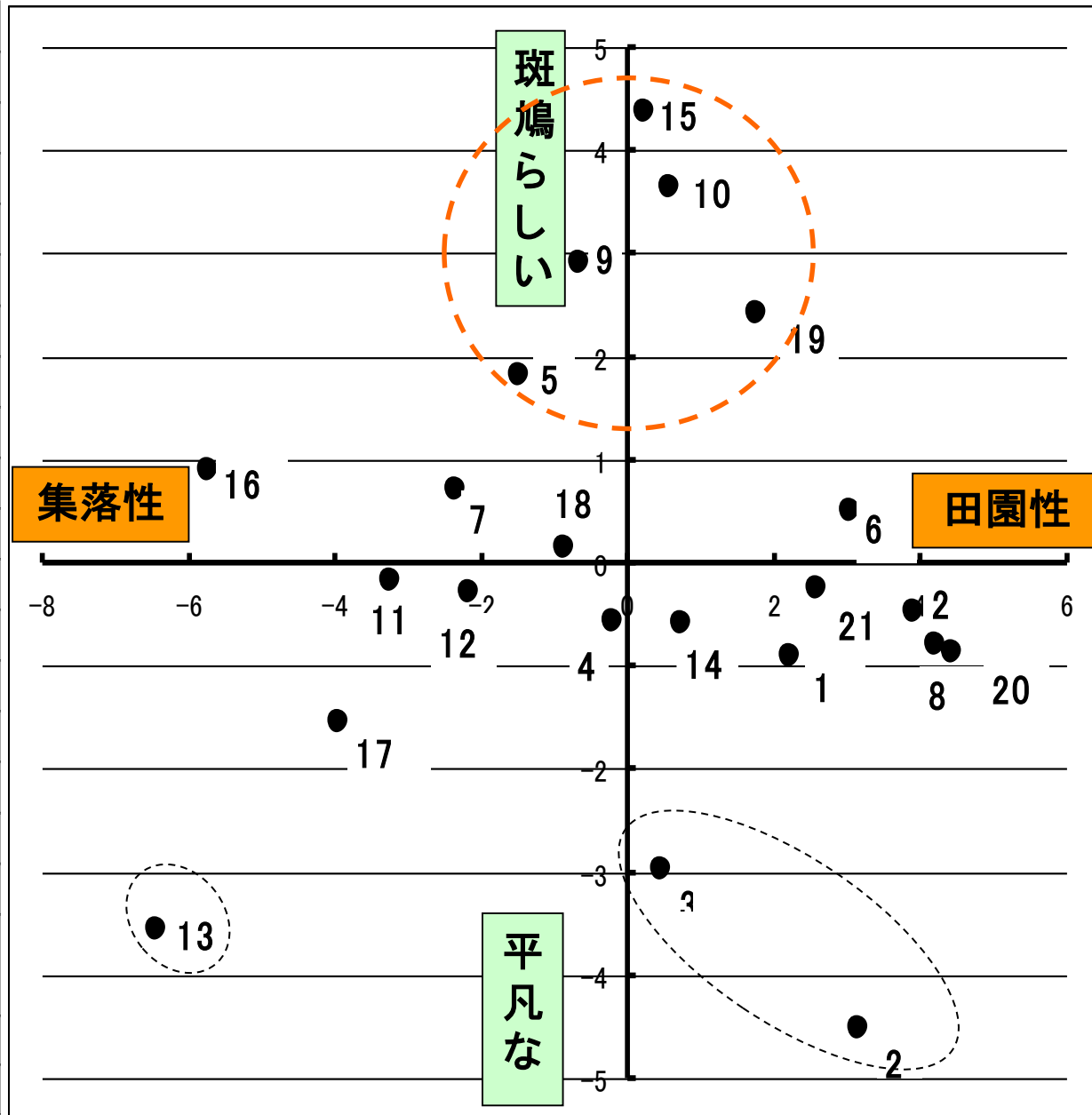


第2章 主成分分析を用いた解析結果

主成分負荷量

22景の主成分得点を用いた2次元布置図

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.9318	-0.2319
変化のある⇔単調な	0.1370	0.8777
奥行きある⇔奥行きない	0.8700	-0.2205
やわらかい⇔かたい	0.9765	0.0089
密集とした⇔閑散とした	-0.6280	0.6474
個性的な⇔平凡な	0.0896	0.8982
活発な⇔おとなしい	0.0686	0.7804
緑豊かな⇔緑乏しい	0.8514	0.2547
力強い⇔弱々しい	0.0869	0.8651
潤いある⇔潤いがない	0.9098	0.2199
のどかな⇔騒々しい	0.8387	-0.2488
伝統的な⇔斬新な	0.0182	0.7494
自然な⇔人工的な	0.8848	0.0399
整然とした⇔雑然とした	0.0025	-0.3193
開放的な⇔閉鎖的な	0.9648	-0.1629
暖かい⇔冷たい	0.7450	0.4013
軽快な⇔重い	0.8986	-0.0805
明るい⇔暗い	0.9104	0.1653
固有値	9.1733	4.5181
寄与率	50.96%	25.10%
累積寄与率	50.96%	76.06%

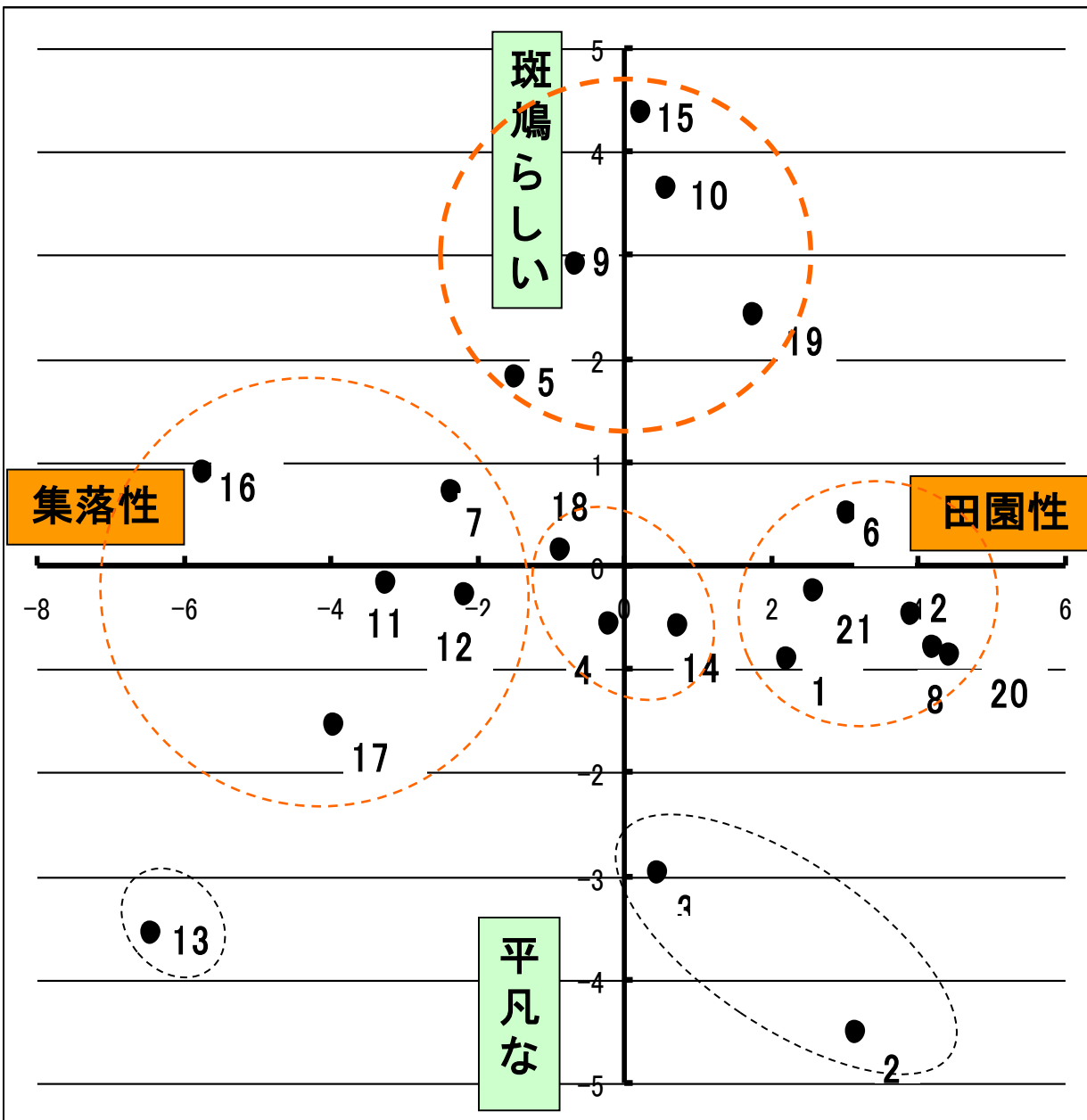


第2章 主成分分析を用いた解析結果

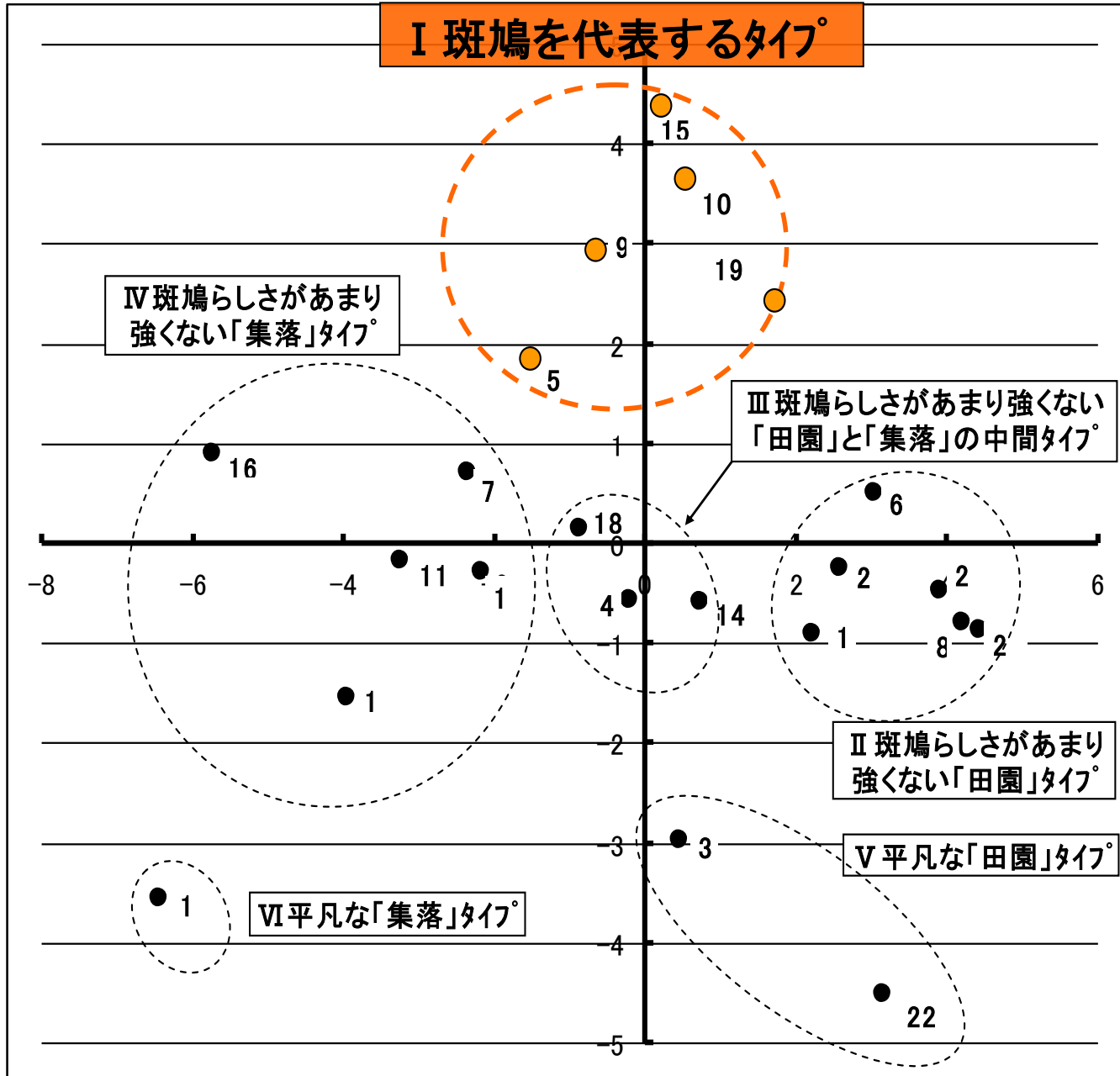
主成分負荷量

22景の主成分得点を用いた2次元布置図

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.9318	-0.2319
変化のある⇔単調な	0.1370	0.8777
奥行きある⇔奥行きない	0.8700	-0.2205
やわらかい⇔かたい	0.9765	0.0089
密集とした⇔閑散とした	-0.6280	0.6474
個性的な⇔平凡な	0.0896	0.8982
活発な⇔おとなしい	0.0686	0.7804
緑豊かな⇔緑乏しい	0.8514	0.2547
力強い⇔弱々しい	0.0869	0.8651
潤いある⇔潤いがない	0.9098	0.2199
のどかな⇔騒々しい	0.8387	-0.2488
伝統的な⇔斬新な	0.0182	0.7494
自然な⇔人工的な	0.8848	0.0399
整然とした⇔雑然とした	0.0025	-0.3193
開放的な⇔閉鎖的な	0.9648	-0.1629
暖かい⇔冷たい	0.7450	0.4013
軽快な⇔重い	0.8986	-0.0805
明るい⇔暗い	0.9104	0.1653
固有値	9.1733	4.5181
寄与率	50.96%	25.10%
累積寄与率	50.96%	76.06%



斑鳩らしさの解明1

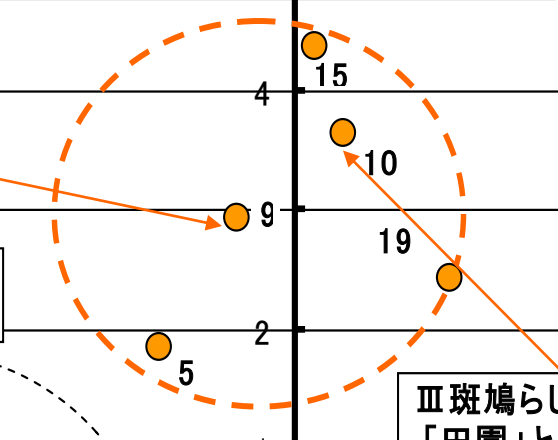


斑鳩らしさの解明1

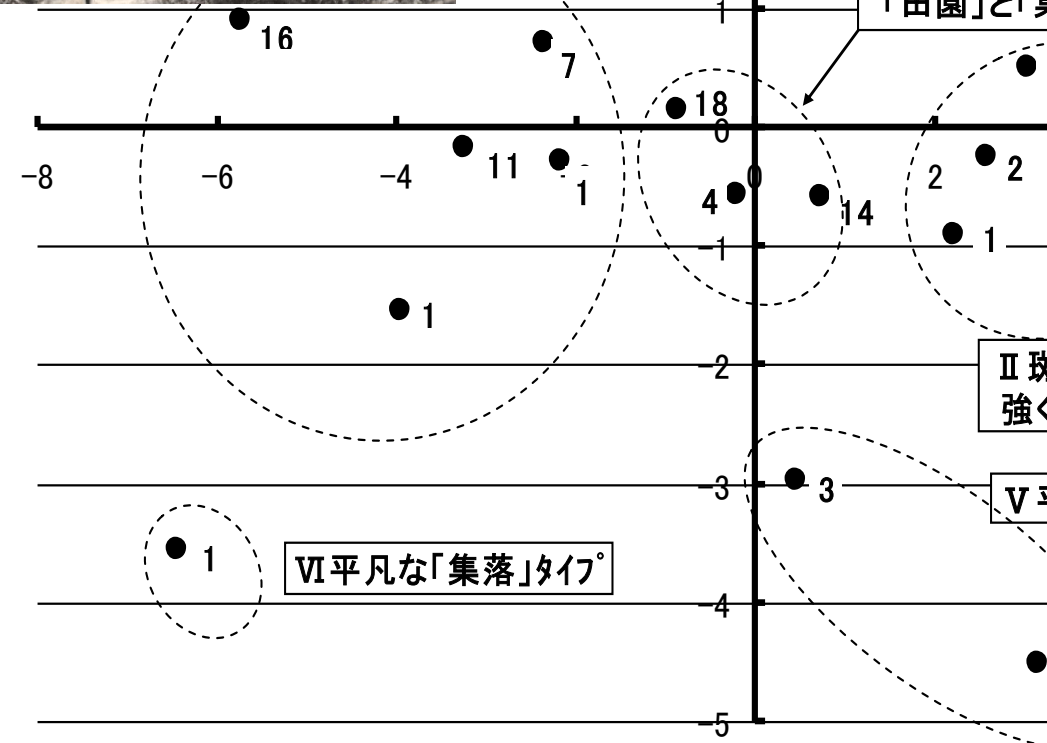


No.9

I 斑鳩を代表するタイプ°



No.10



III 斑鳩らしさ
「田園」と「集

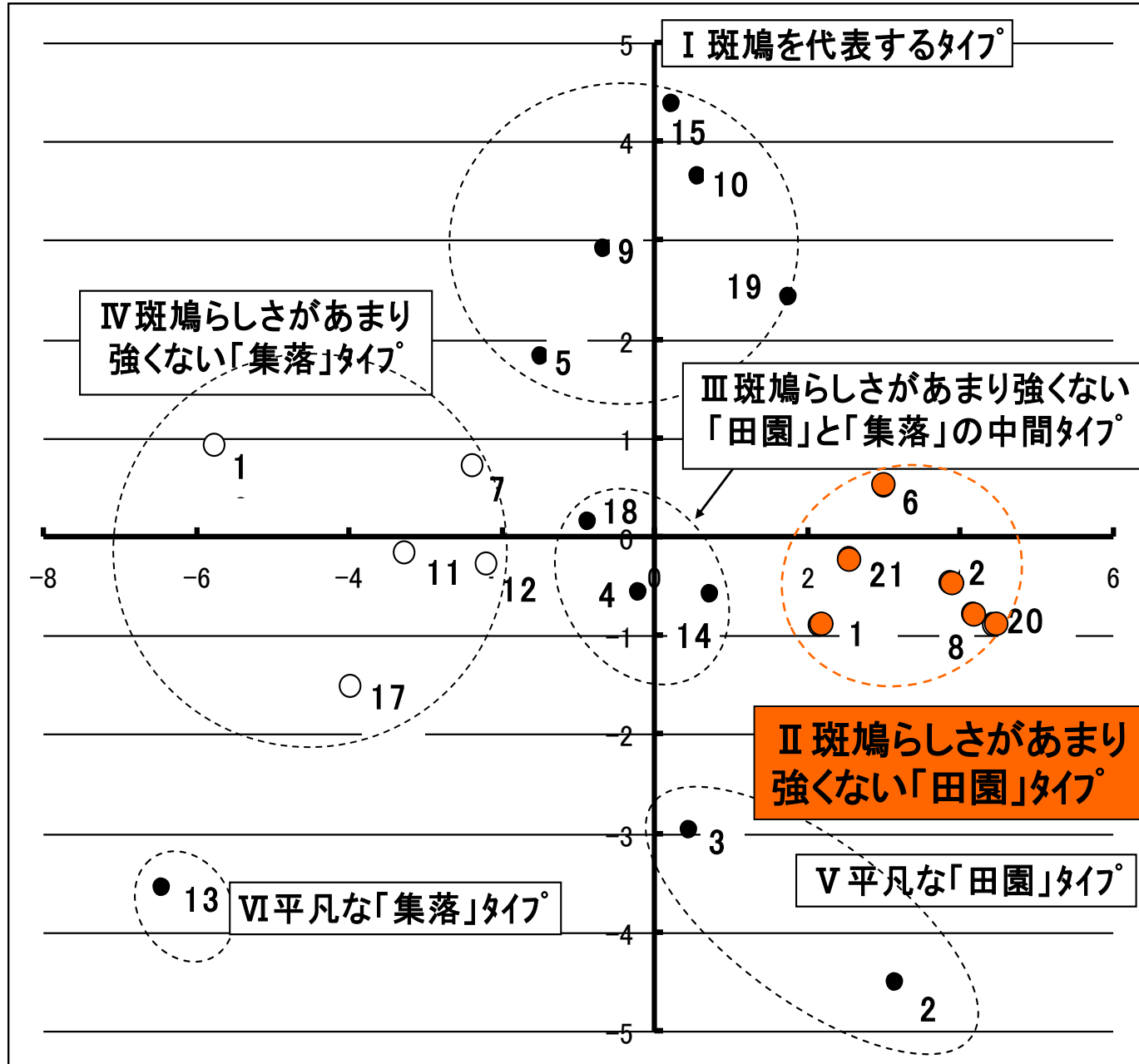
II 斑鳩
強く

V 平

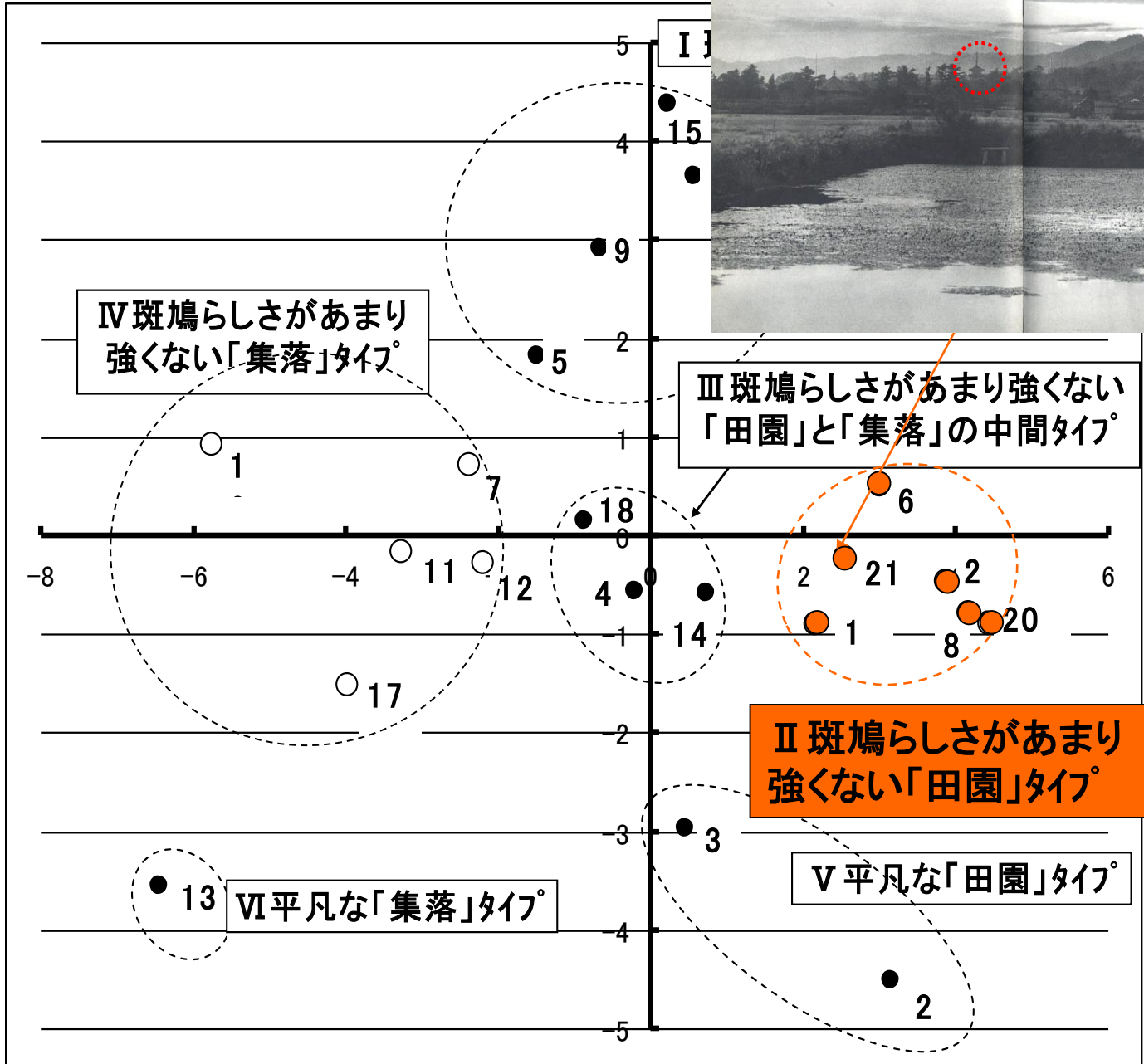
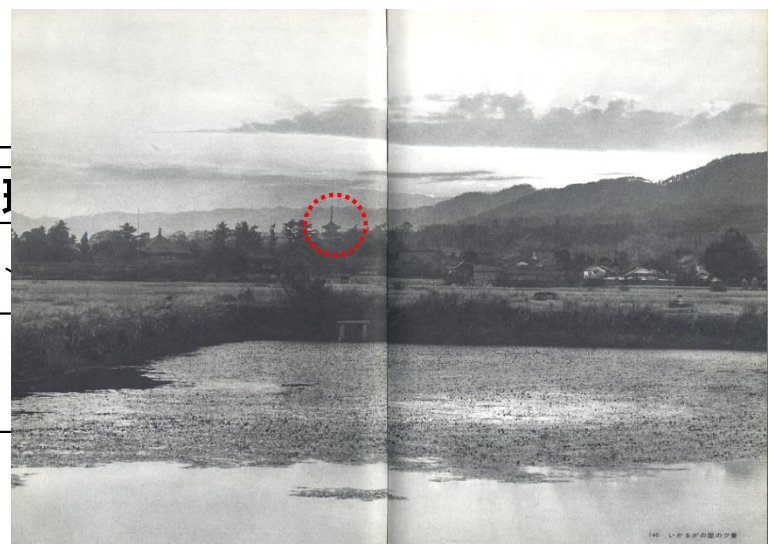
VI 平凡な「集落」タイプ°



斑鳩らしさの解明2

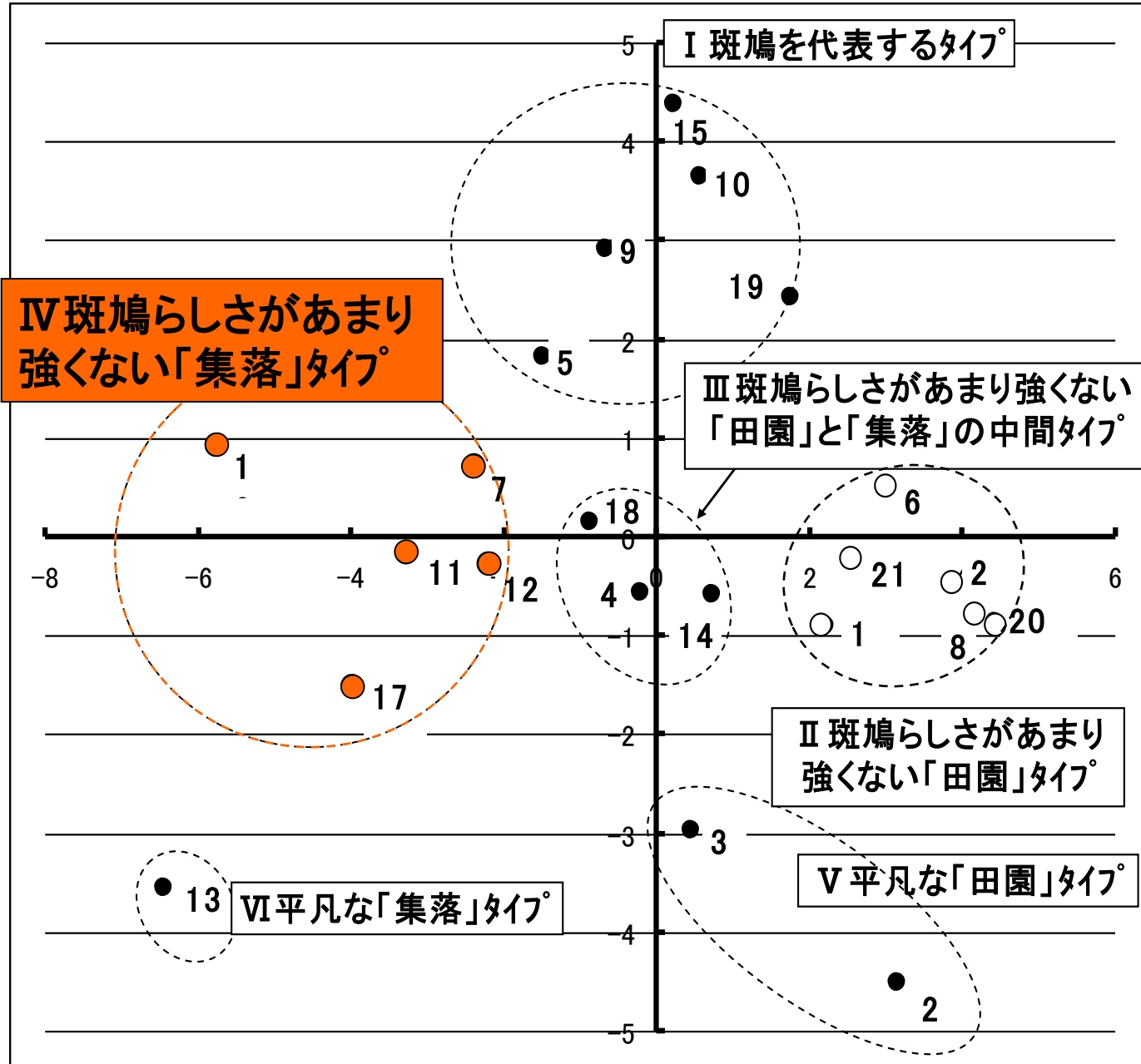


斑鳩らしさの解明2

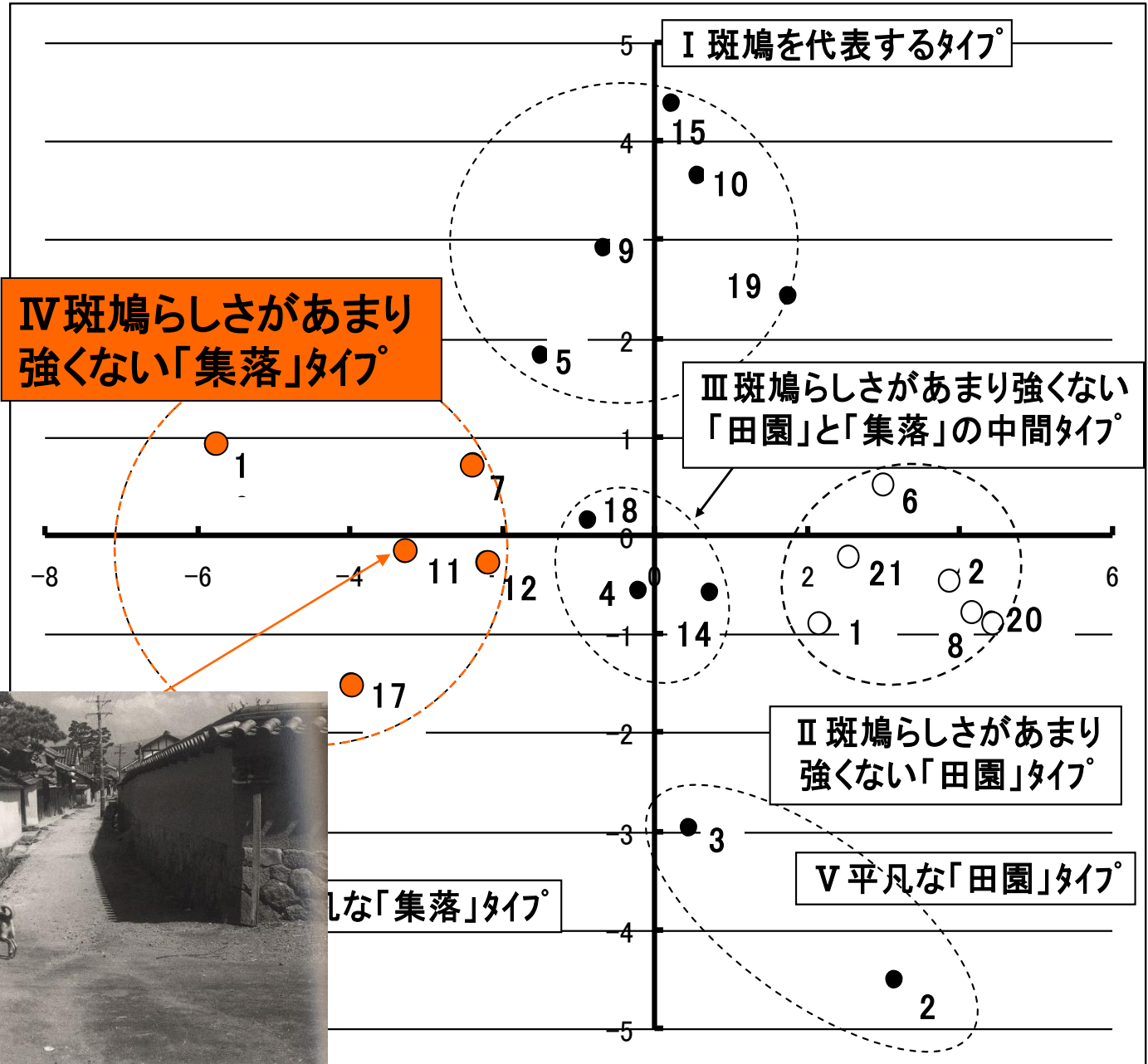


No.21

斑鳩らしさの解明2



斑鳩らしさの解明2



No.11

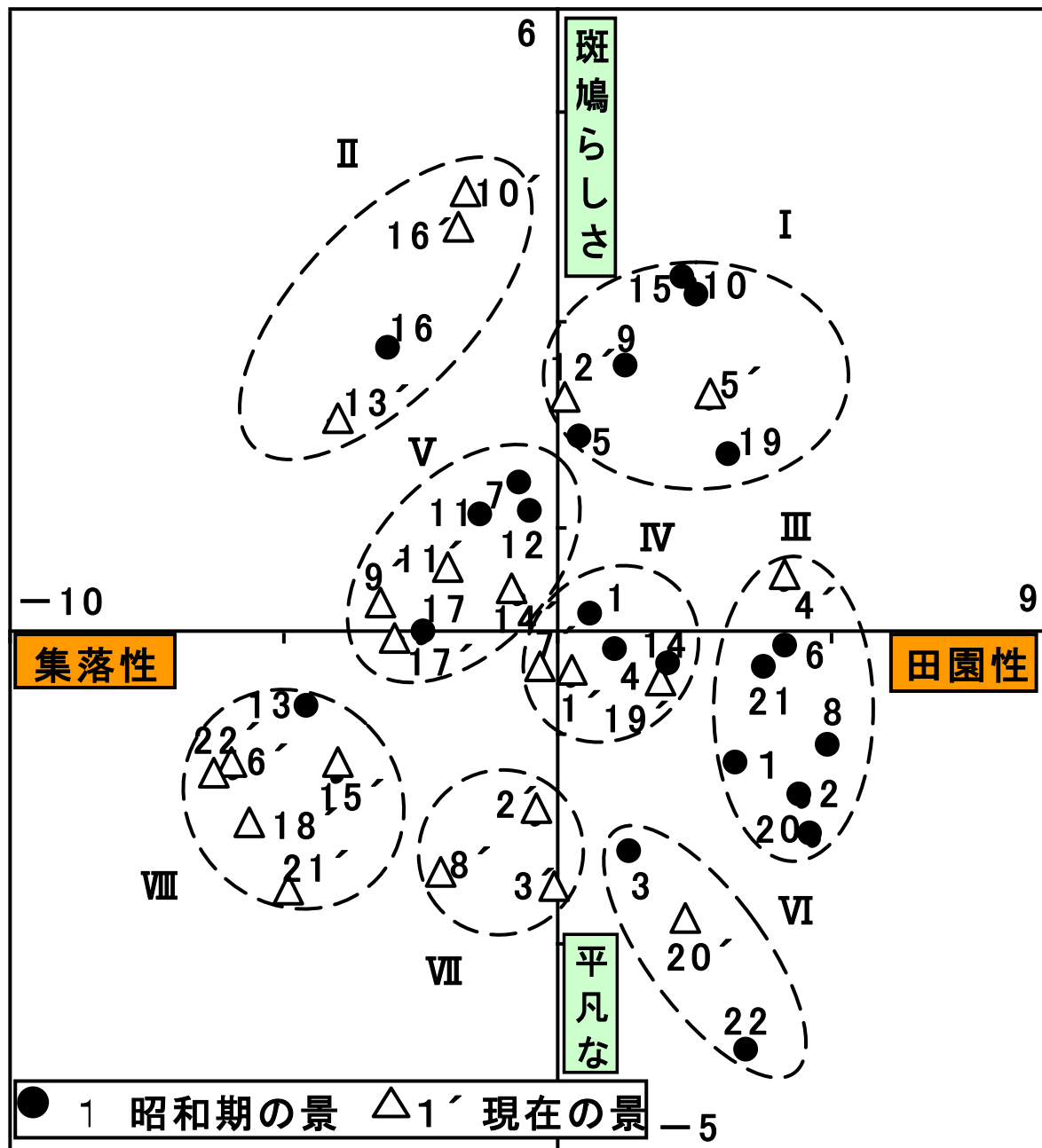


第3章 昭和中期と現在の比較による斑鳩らしい景観の継承性の把握

主成分負荷量

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.8166	-0.4995
変化のある⇔単調な	0.5318	0.5855
奥行きある⇔奥行きない	0.7825	-0.2004
やわらかい⇔かたい	0.9489	-0.2202
密集とした⇔閑散とした	-0.5504	0.6243
個性的な⇔平凡な	0.4291	0.8374
活発な⇔おとなしい	-0.0707	0.4705
緑豊かな⇔緑乏しい	0.9107	0.1091
力強い⇔弱々しい	0.4299	0.8101
潤いある⇔潤いがない	0.9438	0.0858
のどかな⇔騒々しい	0.8394	0.0240
伝統的な⇔斬新な	0.5442	0.7213
自然な⇔人工的な	0.9269	-0.0375
整然とした⇔雑然とした	0.4241	0.3507
開放的な⇔閉鎖的な	0.8519	-0.4387
暖かい⇔冷たい	0.8801	0.2095
軽快な⇔重い	0.7327	-0.4501
明るい⇔暗い	0.8573	-0.0655
固有値	9.6714	3.7573
寄与率	53.73%	20.87%
累積寄与率	53.73%	74.60%

44景の主成分得点を用いた2次元布置図

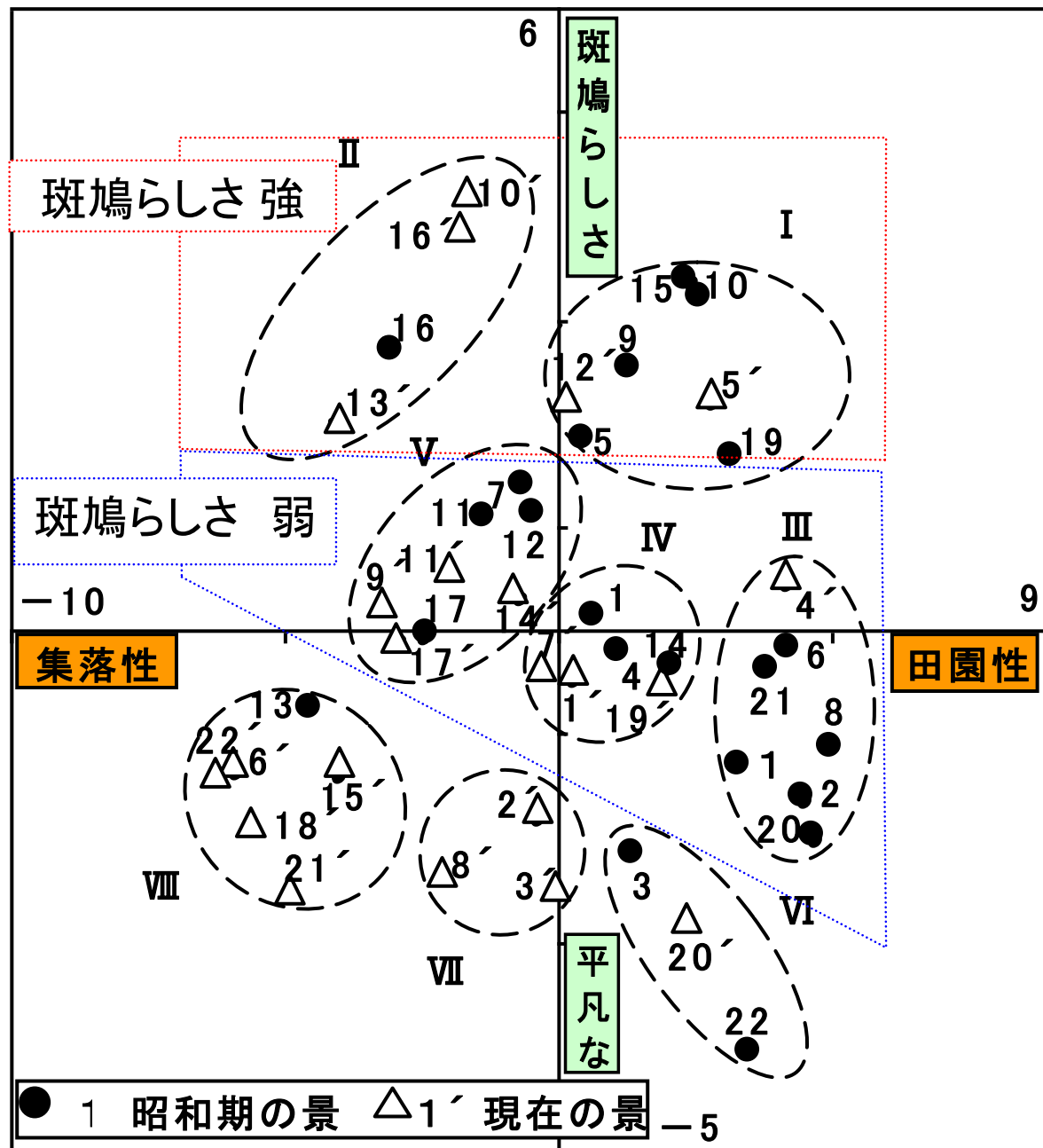


第3章 昭和中期と現在の比較による斑鳩らしい景観の継承性の把握

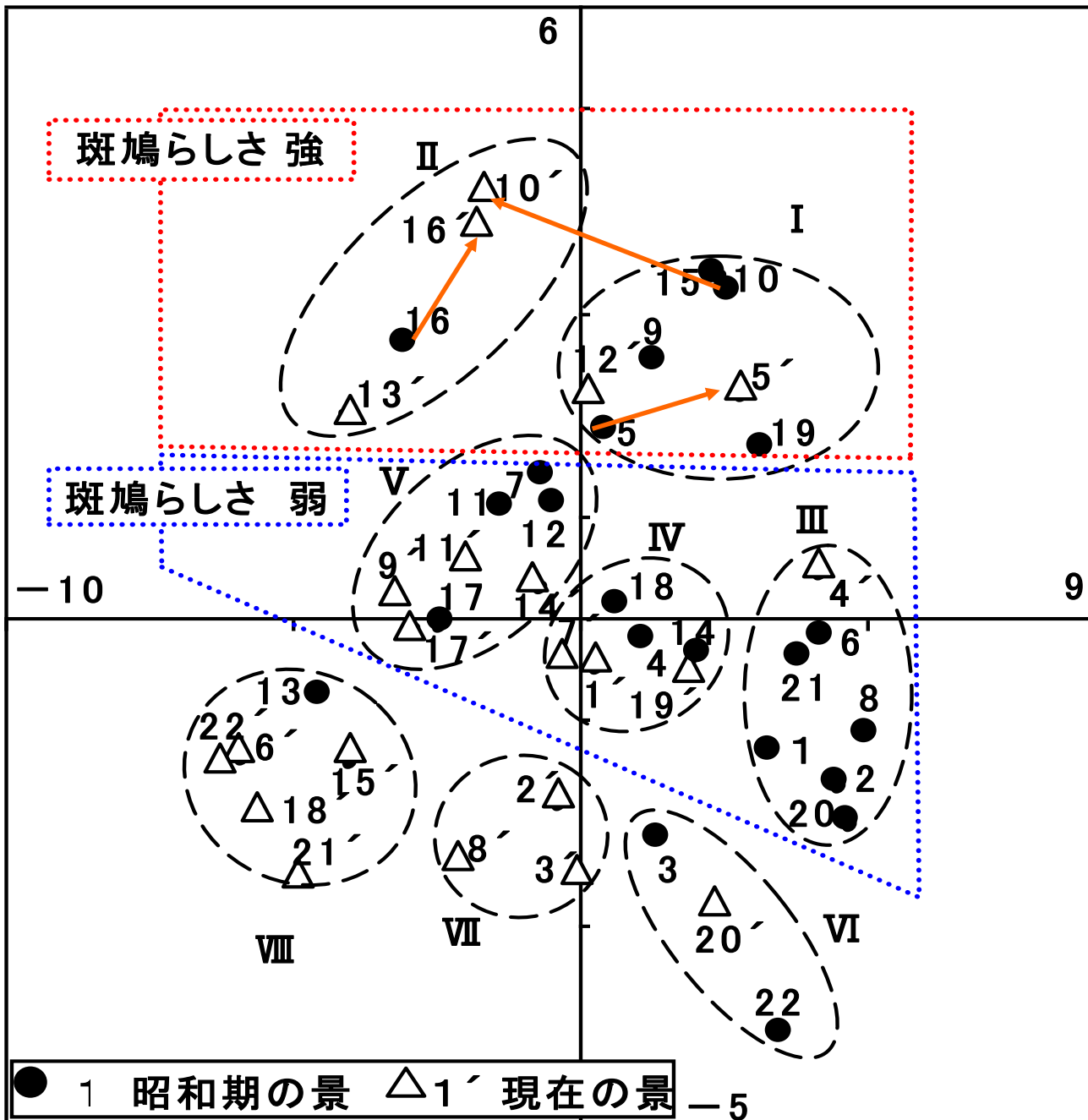
主成分負荷量

評価項目	第一主成分	第二主成分
広々とした⇔狭い	0.8166	-0.4995
変化のある⇔単調な	0.5318	0.5855
奥行きある⇔奥行きない	0.7825	-0.2004
やわらかい⇔かたい	0.9489	-0.2202
密集とした⇔閑散とした	-0.5504	0.6243
個性的な⇔平凡な	0.4291	0.8374
活発な⇔おとなしい	-0.0707	0.4705
緑豊かな⇔緑乏しい	0.9107	0.1091
力強い⇔弱々しい	0.4299	0.8101
潤いある⇔潤いがない	0.9438	0.0858
のどかな⇔騒々しい	0.8394	0.0240
伝統的な⇔斬新な	0.5442	0.7213
自然な⇔人工的な	0.9269	-0.0375
整然とした⇔雑然とした	0.4241	0.3507
開放的な⇔閉鎖的な	0.8519	-0.4387
暖かい⇔冷たい	0.8801	0.2095
軽快な⇔重い	0.7327	-0.4501
明るい⇔暗い	0.8573	-0.0655
固有値	9.6714	3.7573
寄与率	53.73%	20.87%
累積寄与率	53.73%	74.60%

44景の主成分得点を用いた2次元布置図

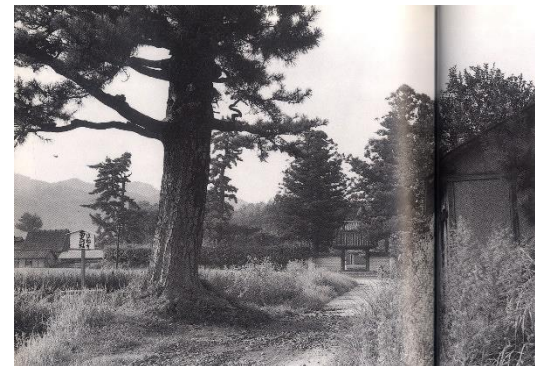


斑鳩らしさの継承性1 (継承型)

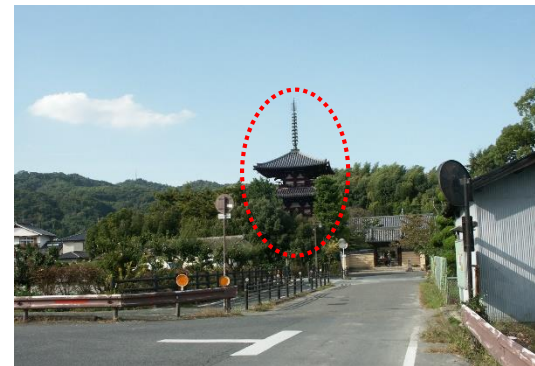


斑鳩らしさの継承性1 (継承型)

昭和期



現在



No.5

No.16

昭和期

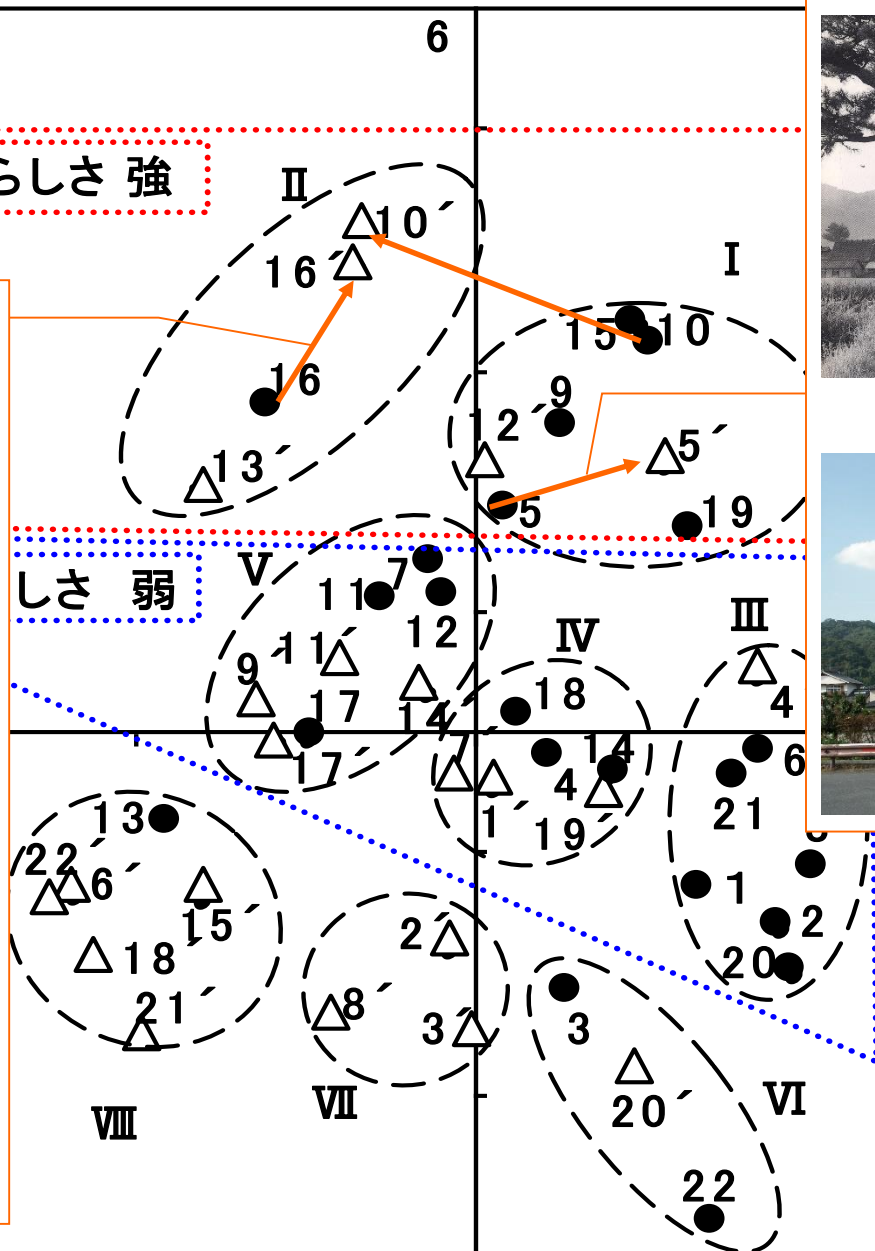


現在



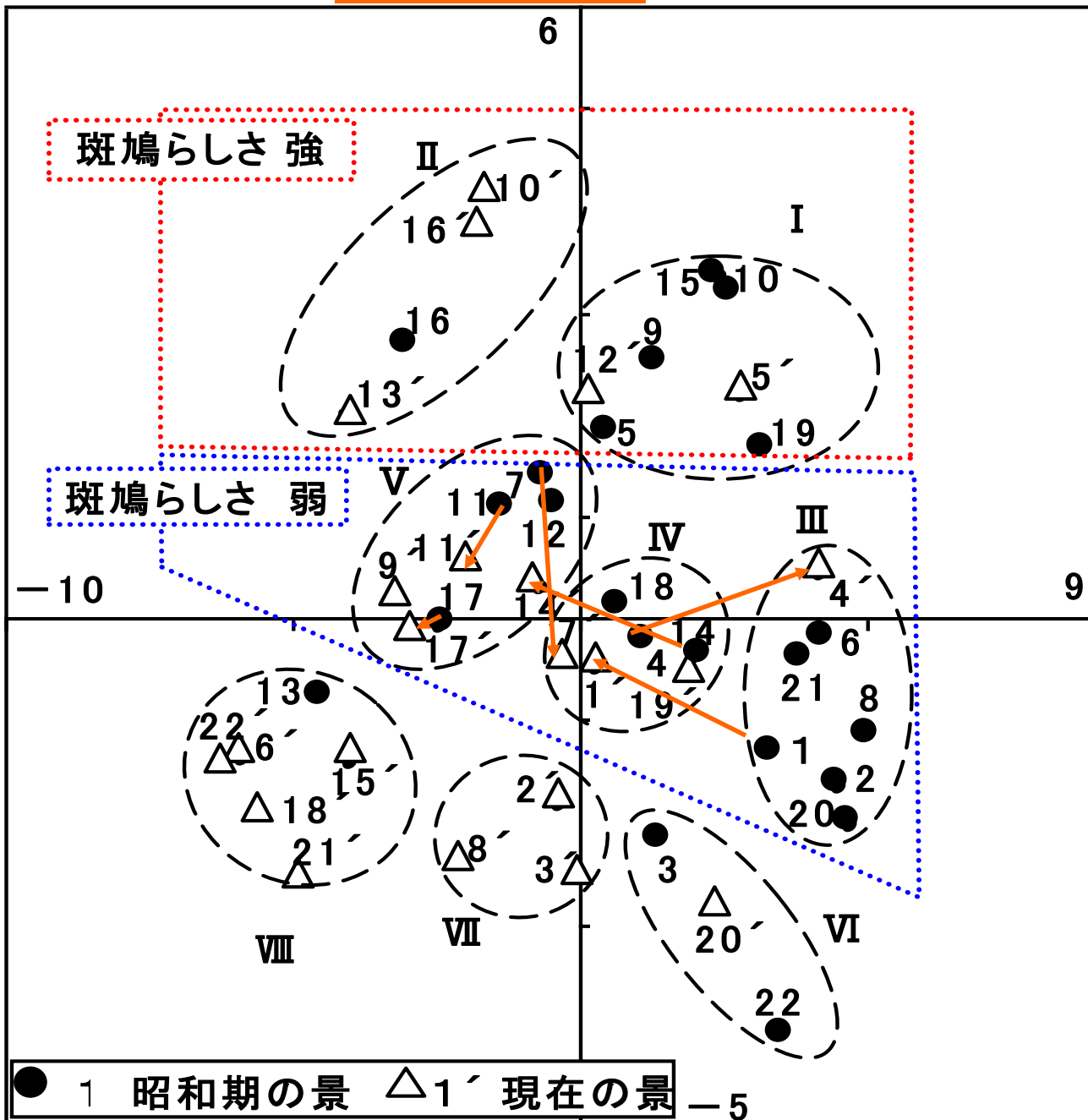
斑鳩らしさ 強

しさ 弱

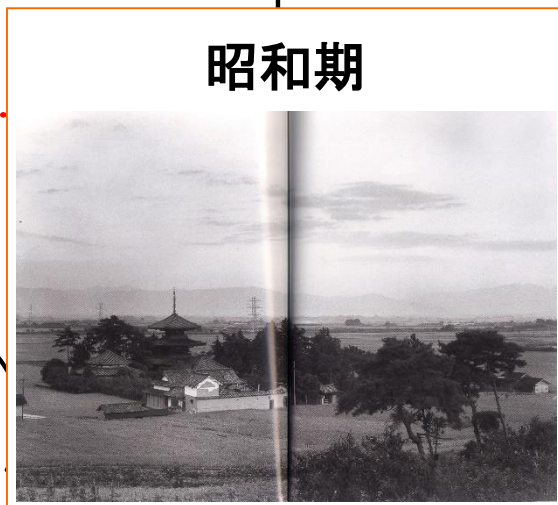
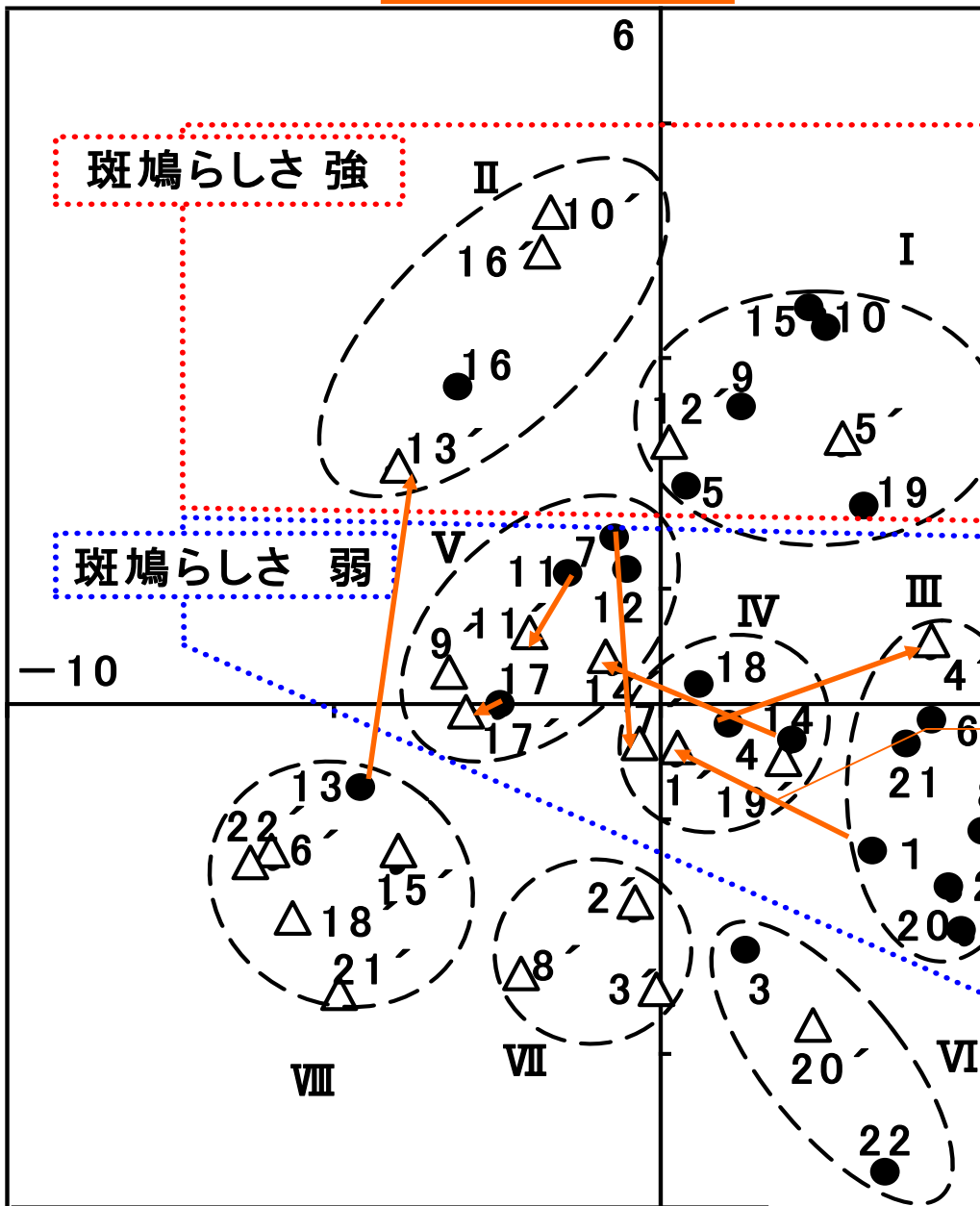


● 1 昭和期の景 △ 1' 現在の景 - 5

斑鳩らしさの継承性2 (やや継承型、強化型、やや強化型)



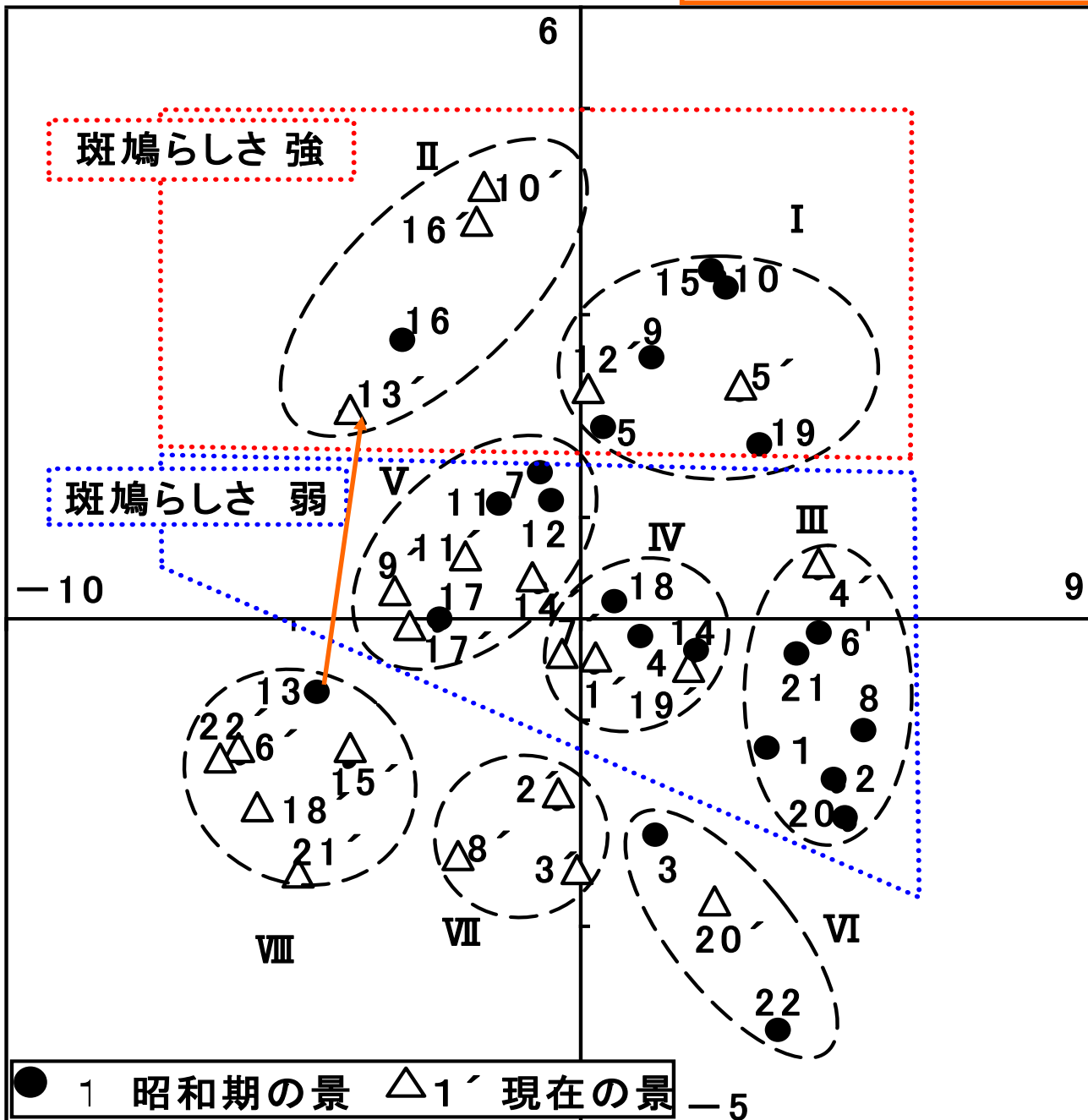
斑鳩らしさの継承性2 (やや継承型、強化型、やや強化型)



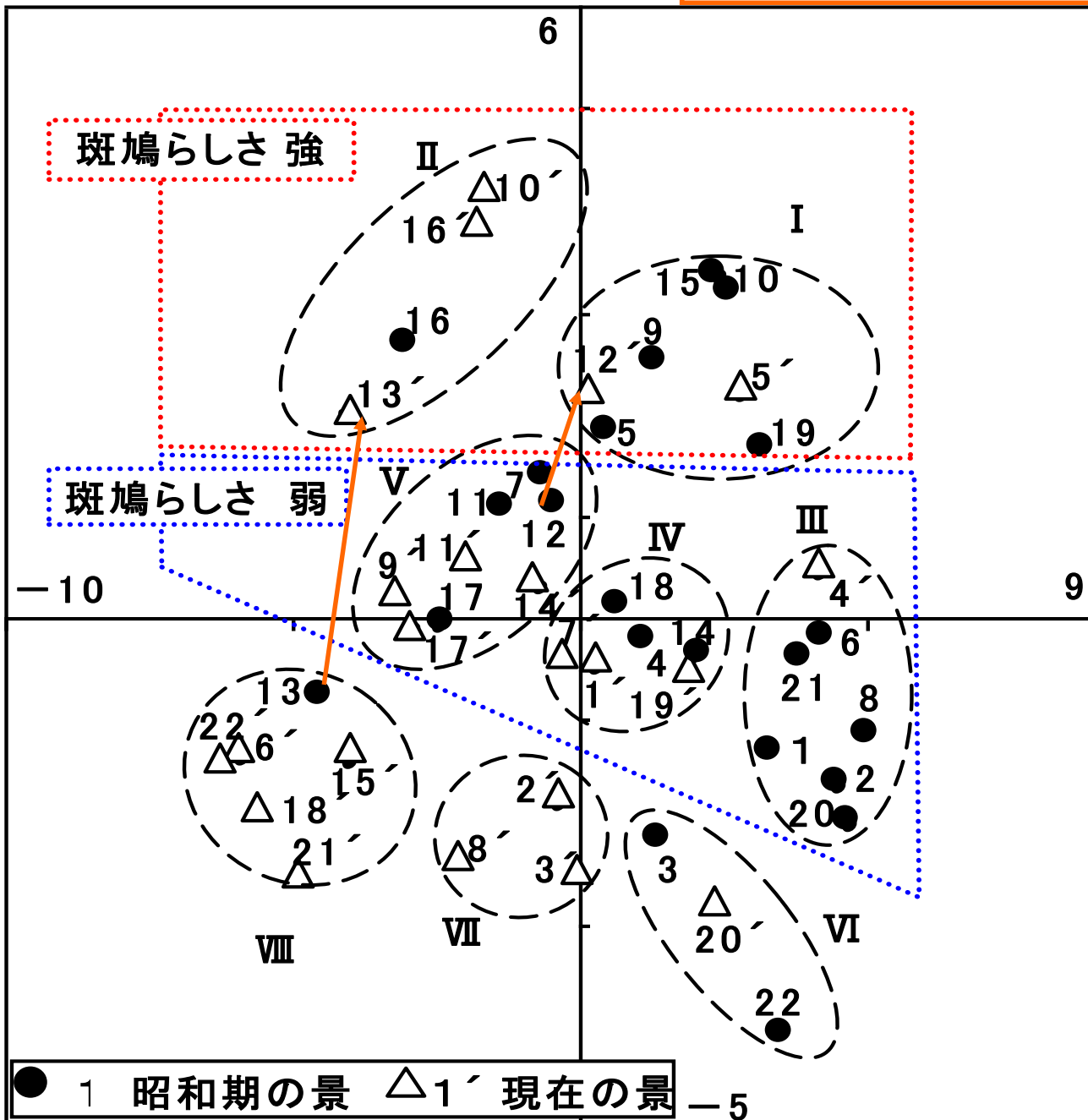
No.1

● 1 昭和期の景 △ 1' 現在の景 -5

斑鳩らしさの継承性2 (やや継承型、強化型、やや強化型)



斑鳩らしさの継承性2 (やや継承型、強化型、やや強化型)



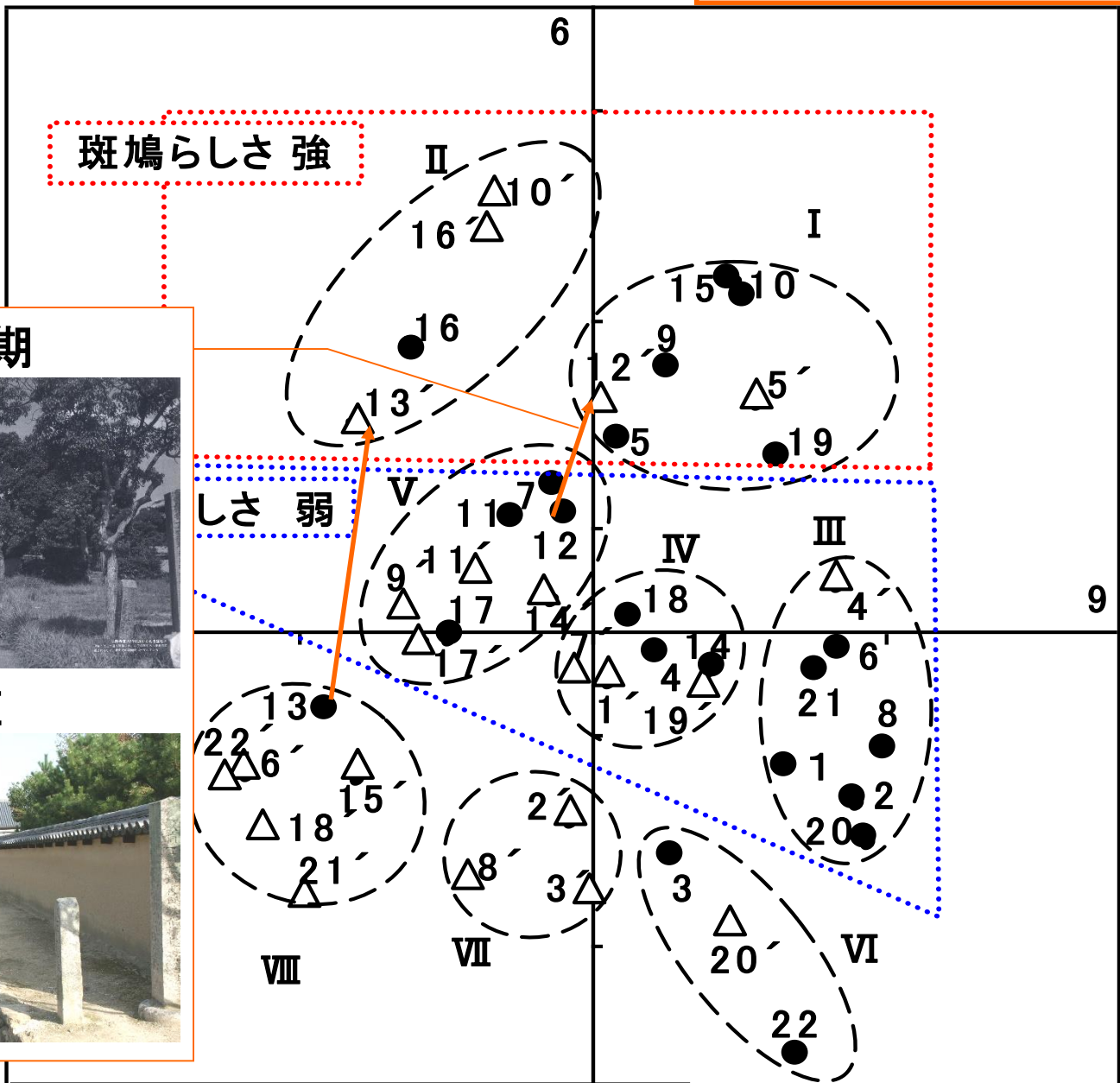
斑鳩らしさの継承性2 (やや継承型、強化型、やや強化型)

No.12

昭和期

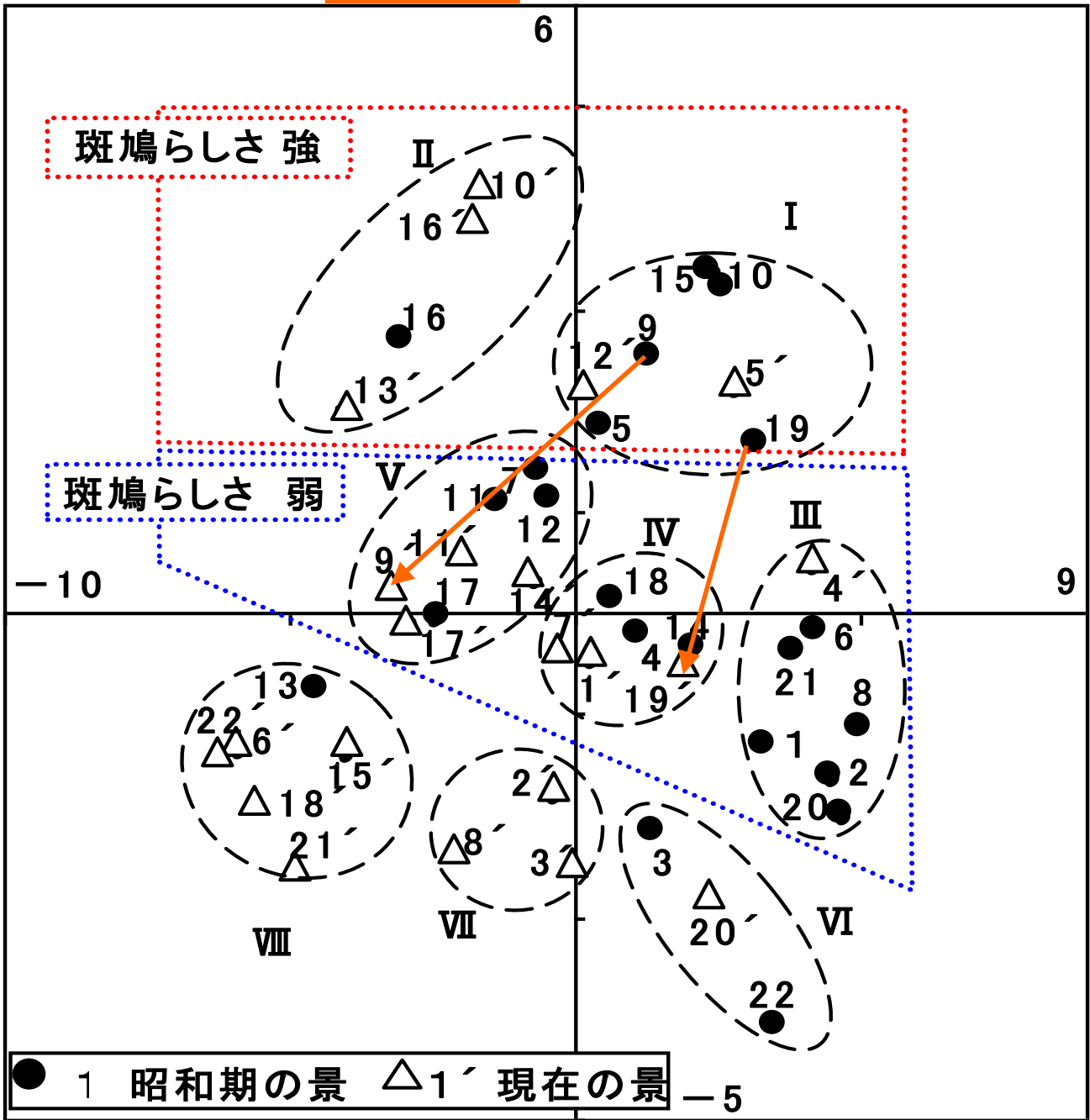


現在



● 1 昭和期の景 △ 1 現在の景 - 5

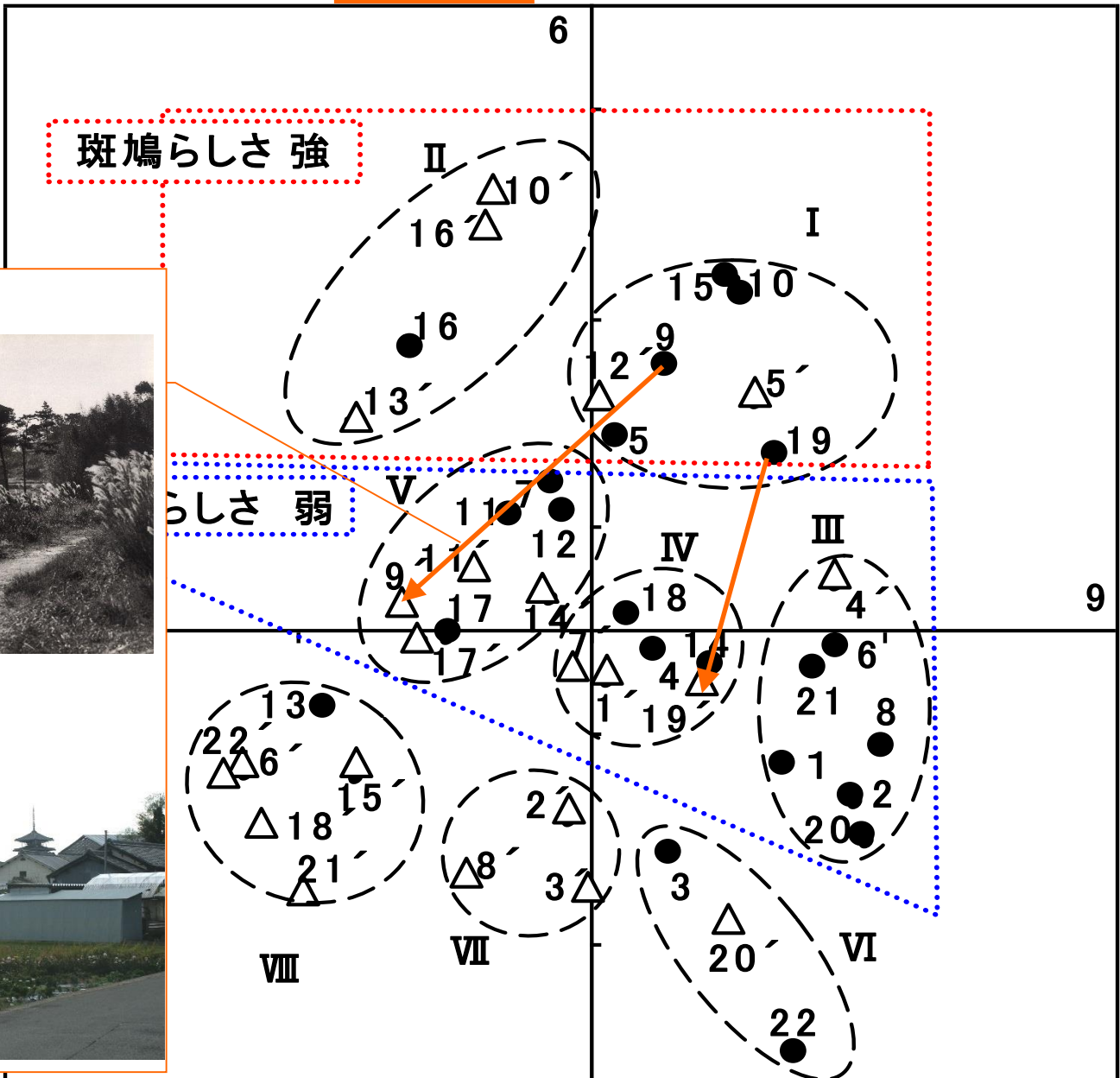
斑鳩らしさの継承性3 (希薄型、喪失型)



● 1 昭和期の景 △ 1' 現在の景 — 5

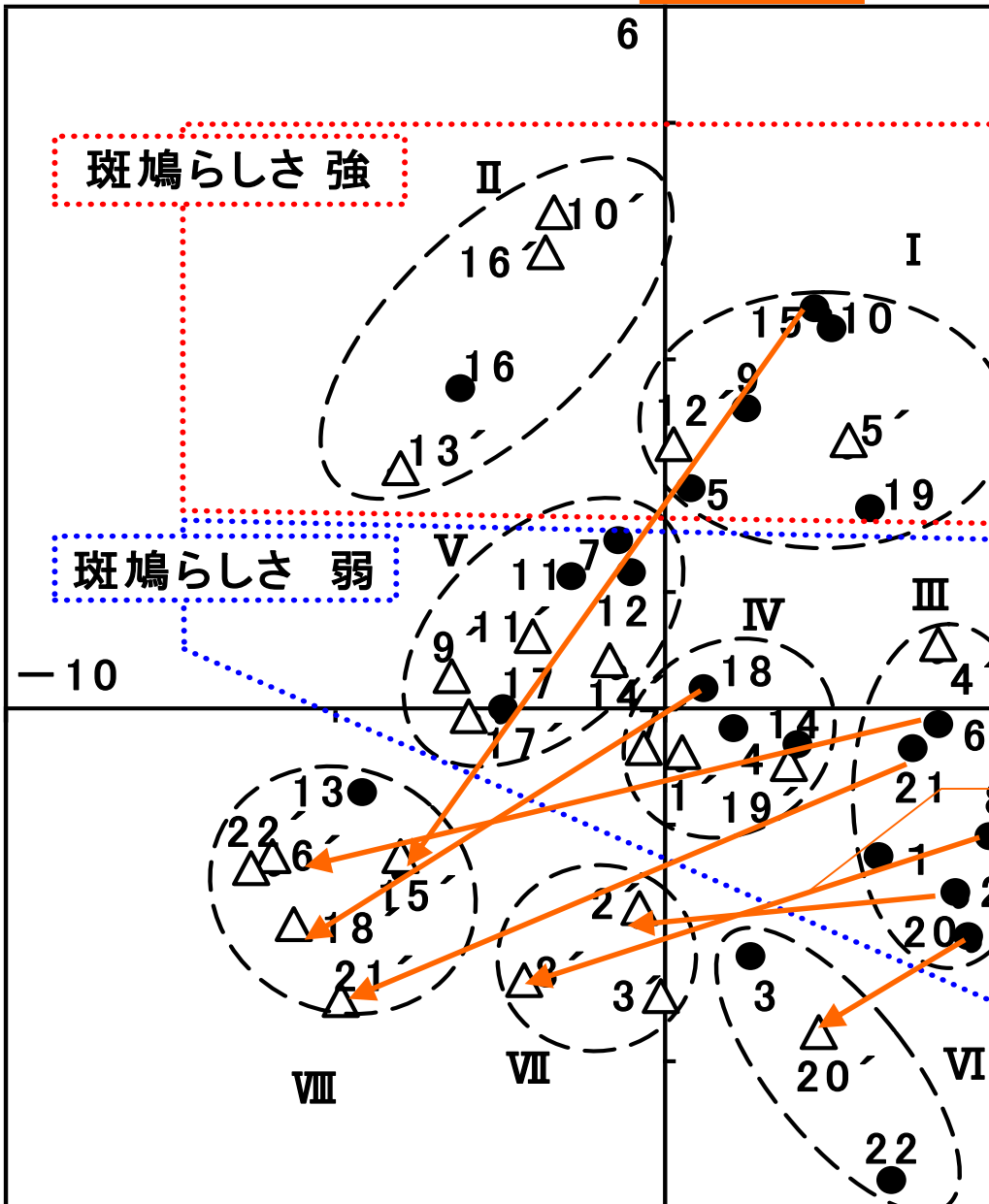
斑鳩らしさの継承性3 (希薄型、喪失型)

No.9



● 1 昭和期の景 △1' 現在の景 — 5

斑鳩らしさの継承性3 (希薄型、**喪失型**)



No.8

● 1 昭和期の景 △1' 現在の景 - 5

第4章 斑鳩らしい景観の継承性と今後の景観の保全のあり方

○斑鳩らしさが継承された景

<集落景>

- ・伝統的な土塀や瓦屋根の民家
- ・社寺を取り巻く屋敷林

<塔が捉えられた田園景>

- ・塔の前景が自然物で構成
- ・塔の視認

○斑鳩らしさが強化された景

社寺周辺の道路において、

- ・土の道路が石畳に
- ・雑然とした生垣が土塀に

○らしさを喪失した景

- ・市街化により塔の引き空間となっていた田園が大きく減少
⇒住宅やマンション、商業施設へ
- ・近・中景の道路付属物、占有物が景観を阻害

<集落地域>

社寺周辺の道路を石畳にすることや、伝統的な土塀の保全が必要

<田園地域>

塔の視認性を高めるため、建築物の用途や高さの規制、無電中化とともに塔の引き空間となる田園とスキ草原の保全が必要